

ものづくり企業の課題に関する調査 調査報告書

2025年3月

岡崎ものづくり推進協議会
(岡崎商工会議所・岡崎市)

[調査目的]

ものづくり企業における経営課題の変化の把握

[調査期間]

2025年3月14日～2025年3月28日

[調査対象]

岡崎商工会議所 会員事業所（製造業）

[回答方法]

Web回答（フォーム）およびFAX回答

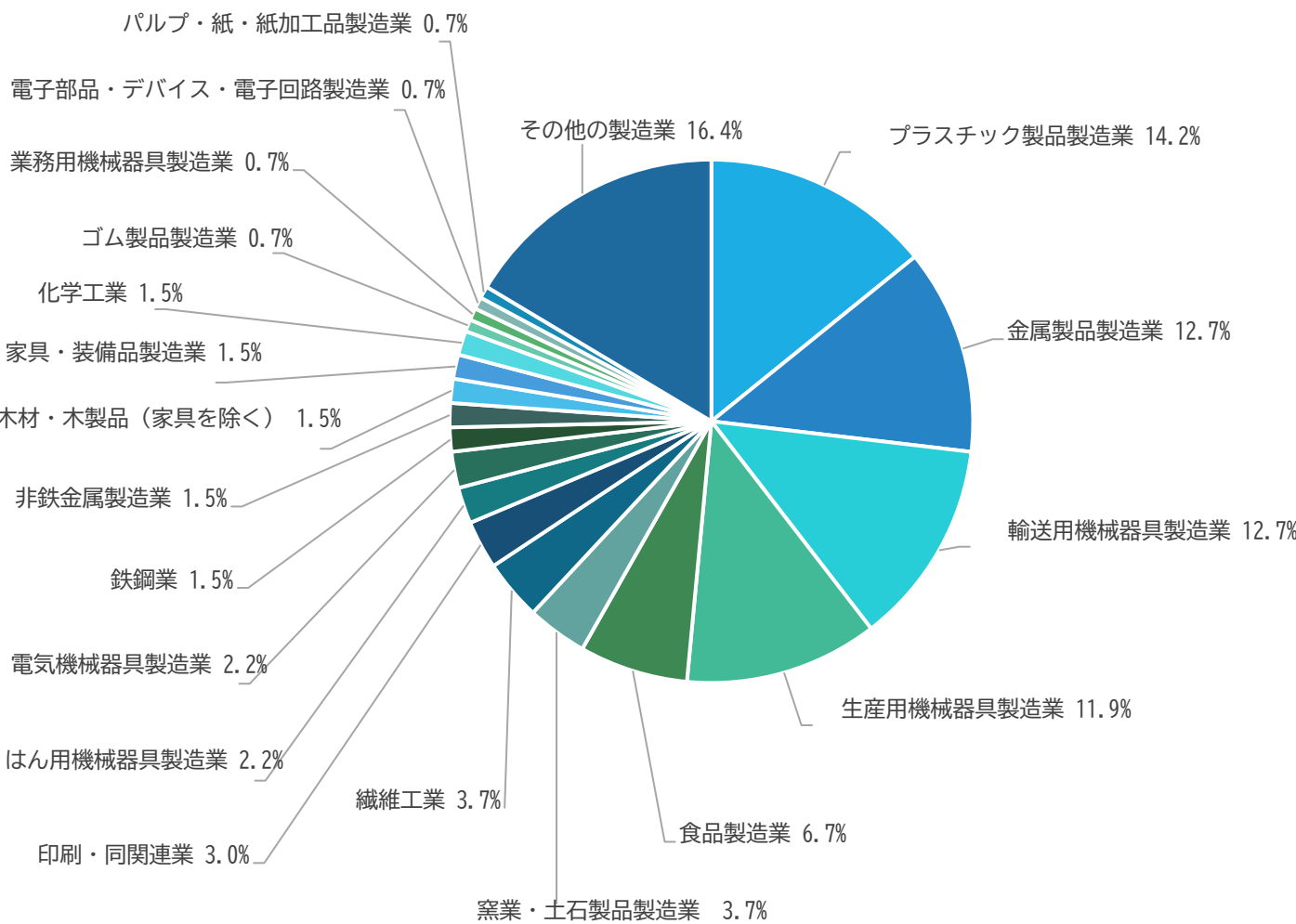
[回答数]

依頼数：747社 回答：136社（n=136） 回収率：18.2%

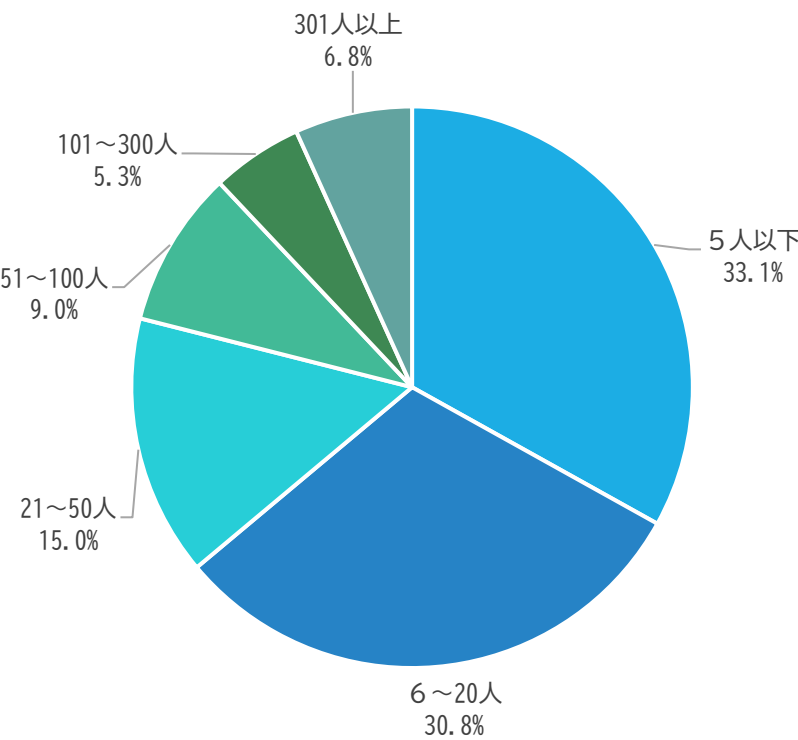
〔調査項目〕

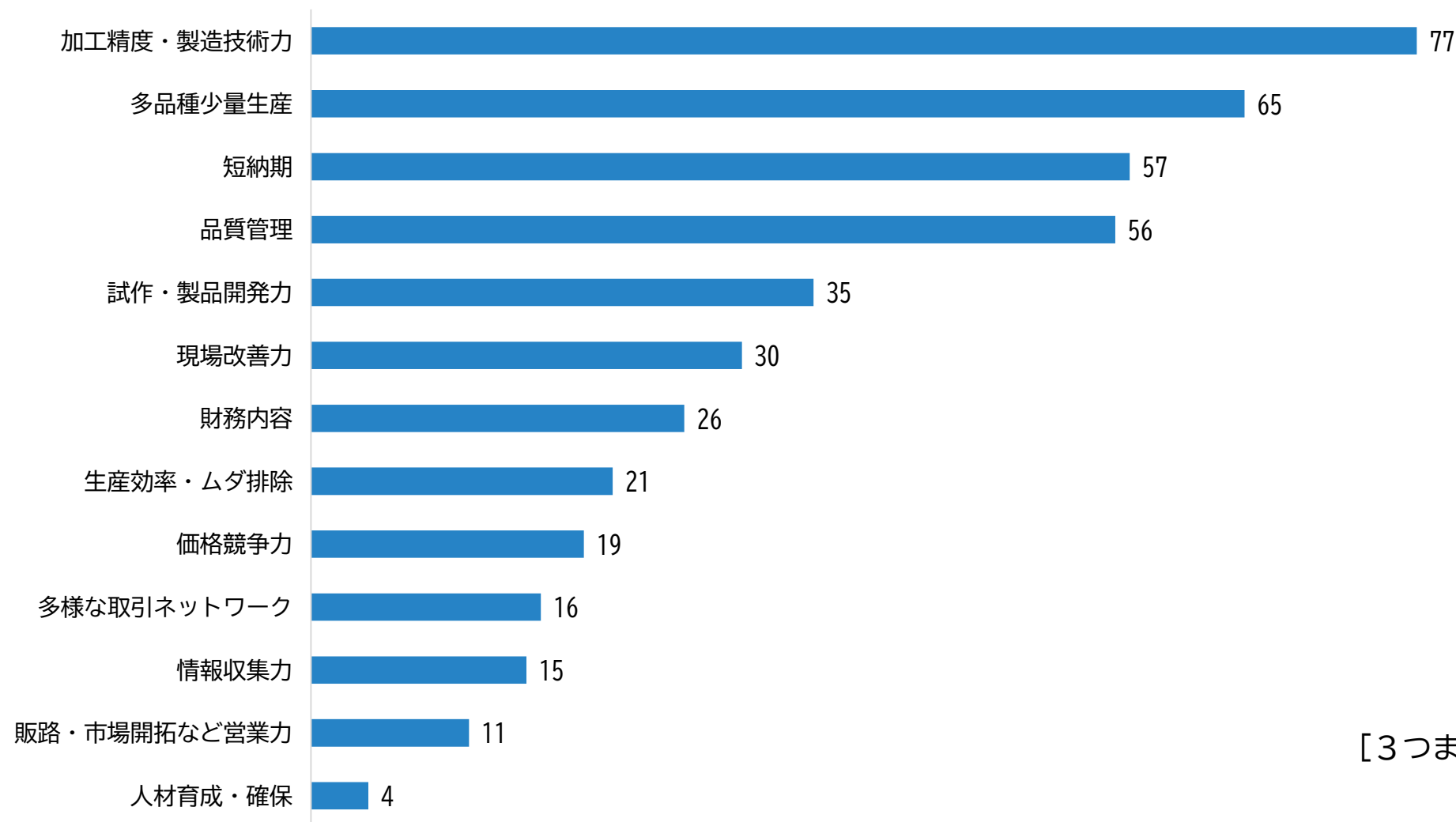
1. 貴社の強みと弱みについて
2. 実施した企業行動について
3. 事業見通しについて
4. 今後の取り組みについて
5. 販路開拓の課題について
6. 新製品や生産技術の開発等に係る取り組み状況について
7. 異業種連携・産学官連携・オープンイノベーションについて
8. 注目している領域について
9. デジタル化の取り組みについて
10. サイバーセキュリティ対策の取り組みについて
11. 設備投資の状況について
12. 競争力の源泉について
13. 働き方改革について
14. 省エネとカーボンニュートラルについて
15. リスクの認識とBCPの策定について
16. パートナiershipについて
17. 後継ぎ、事業承継について
18. 雇用について
19. 企業間取引における価格交渉について

業 種

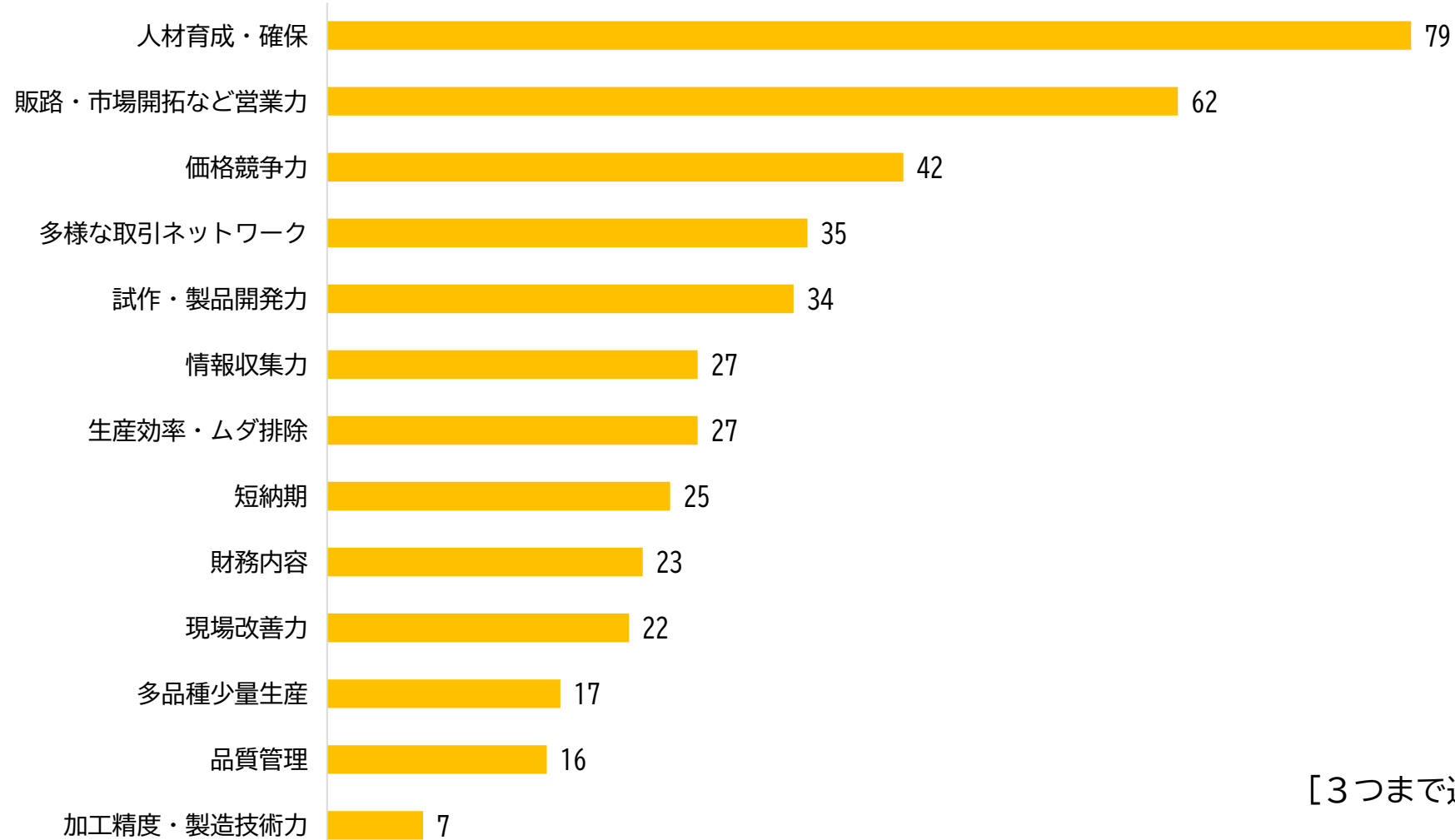


従業員数



1. 強み

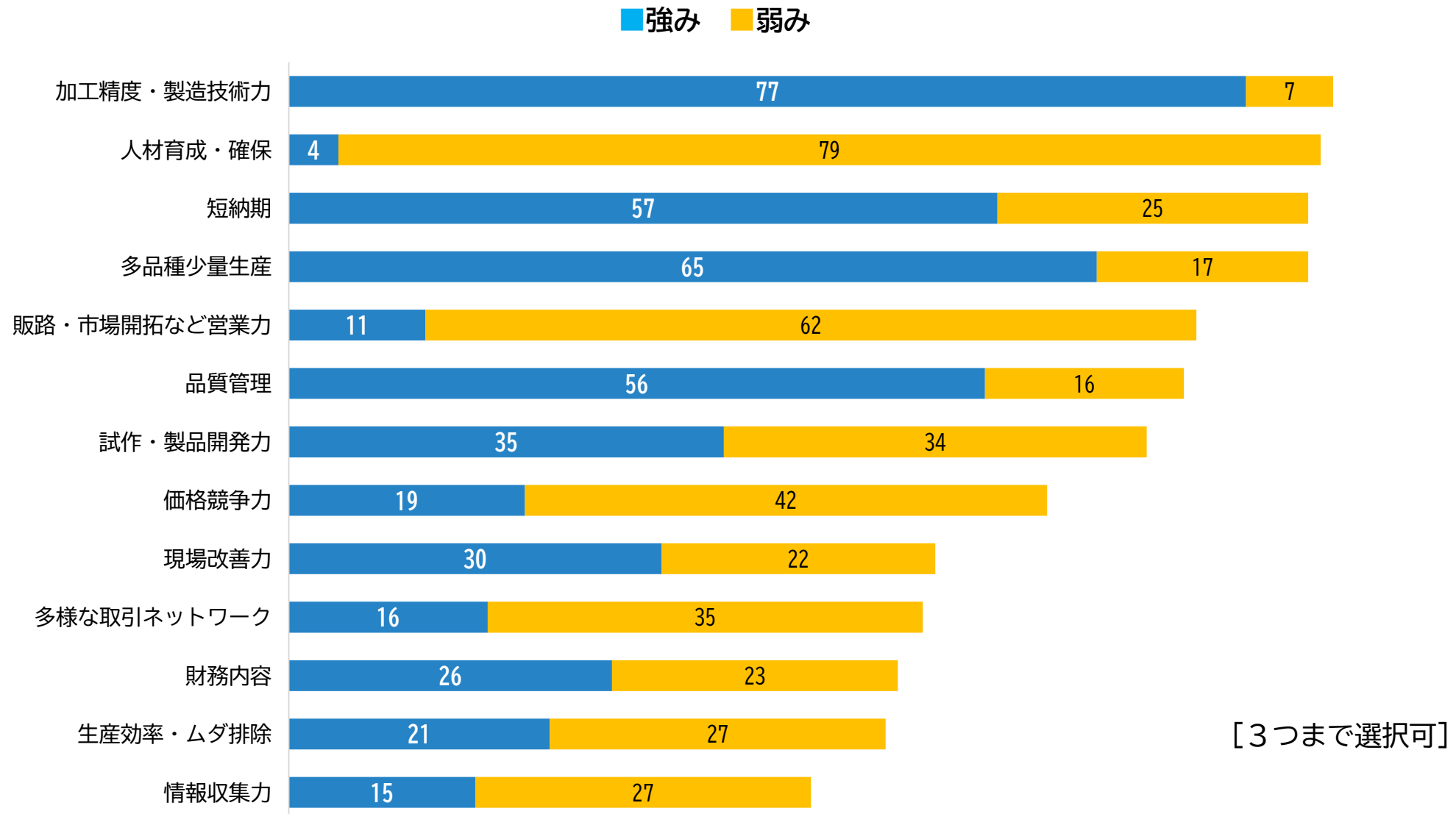
[3つまで選択可]

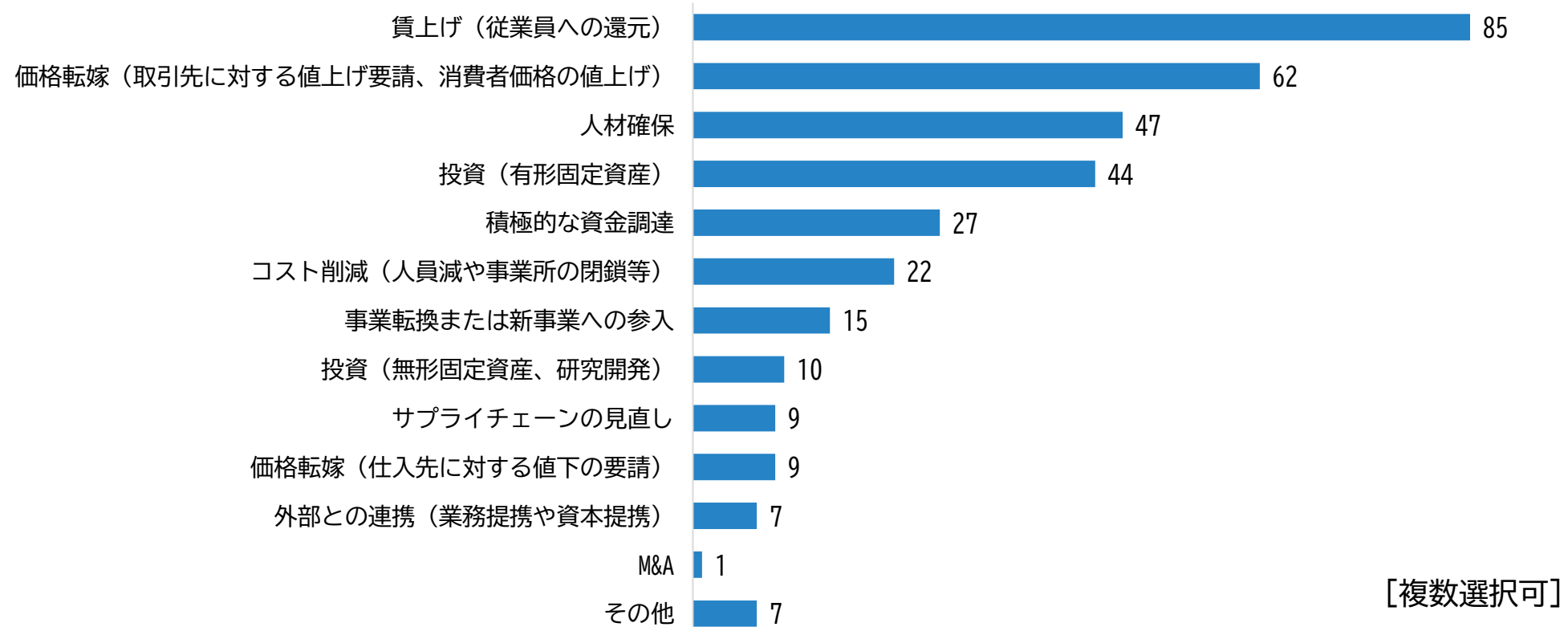
1. 弱み

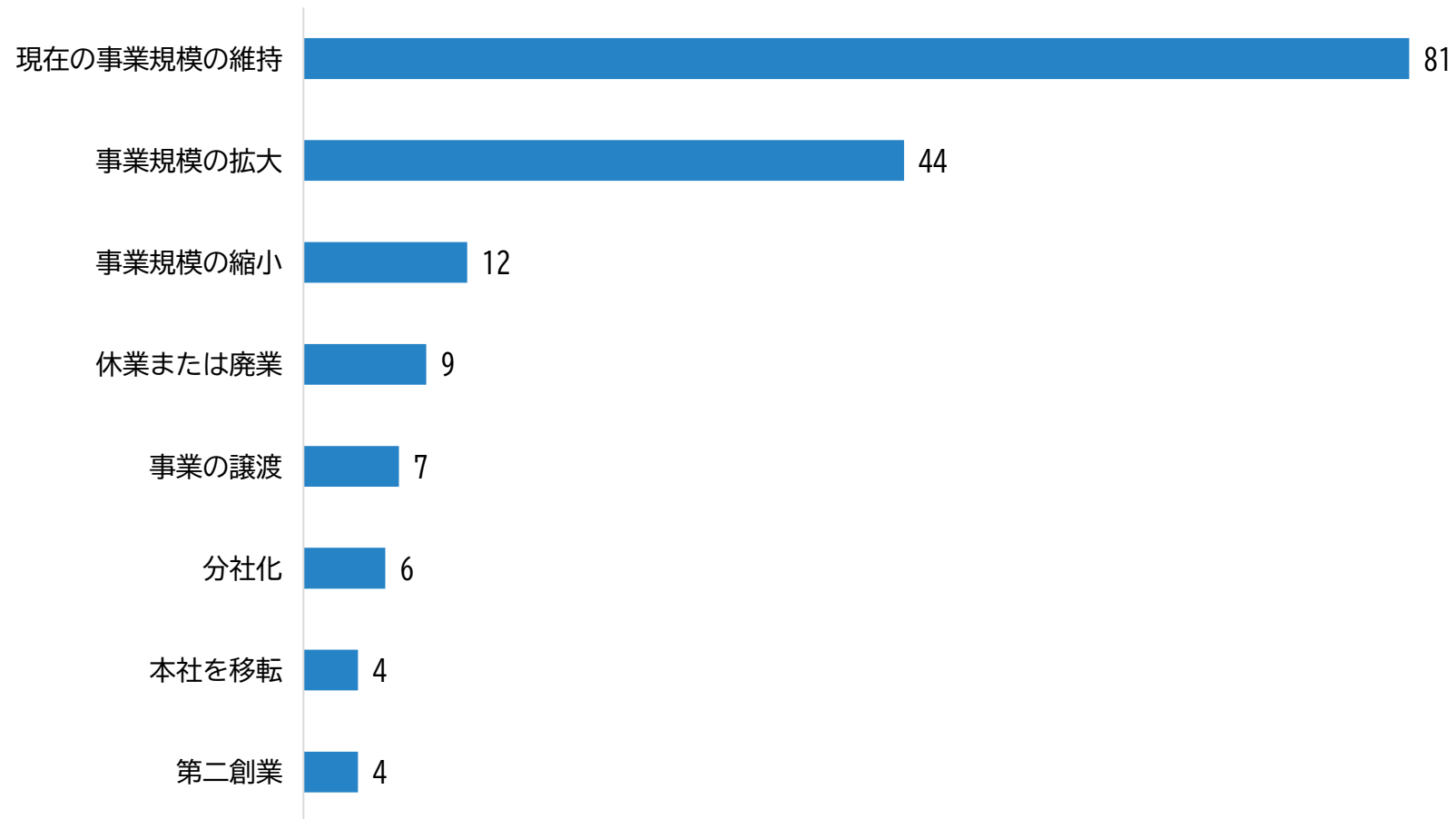
[3つまで選択可]

Q1. 貴社の強みと弱みについて

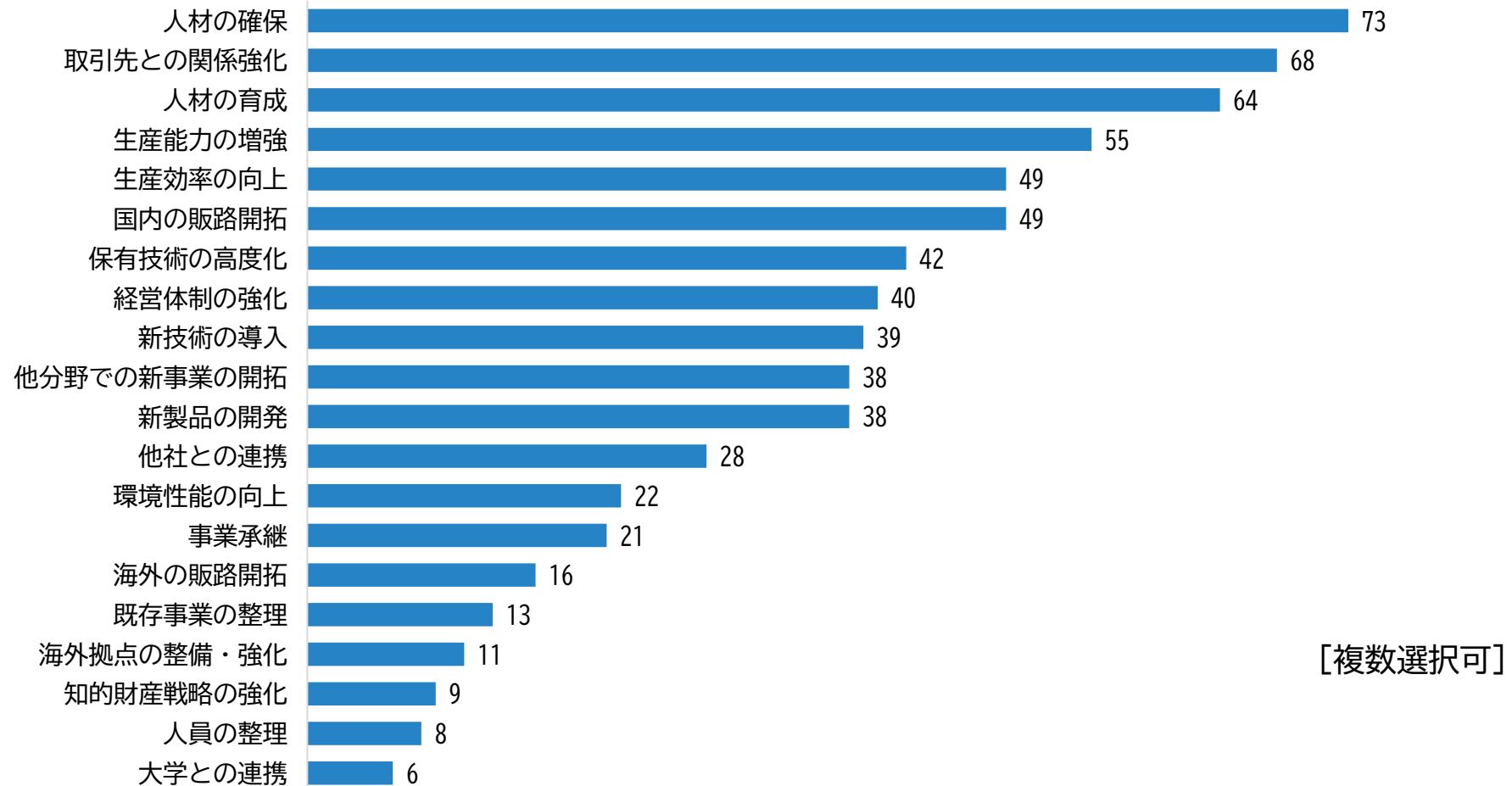
回答数：136/136社



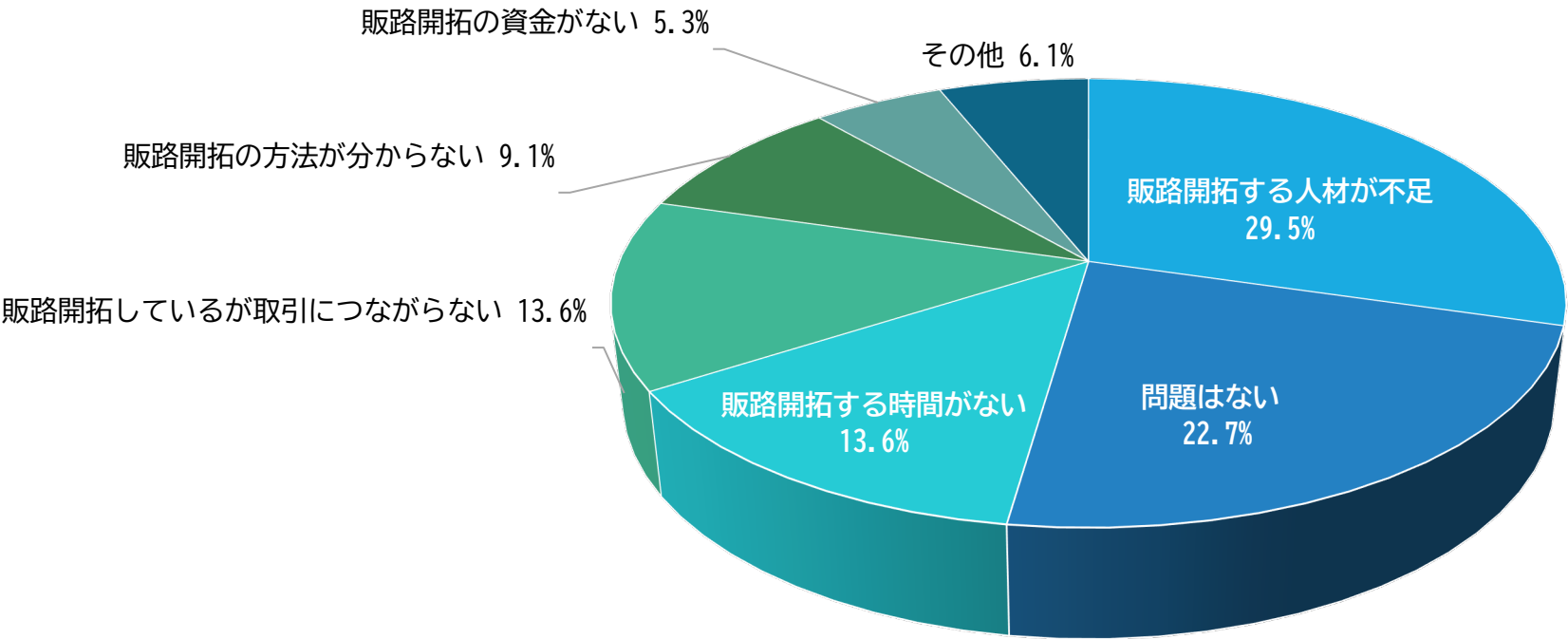
直近3年間で実施した企業行動

3～5年先の事業の見通し

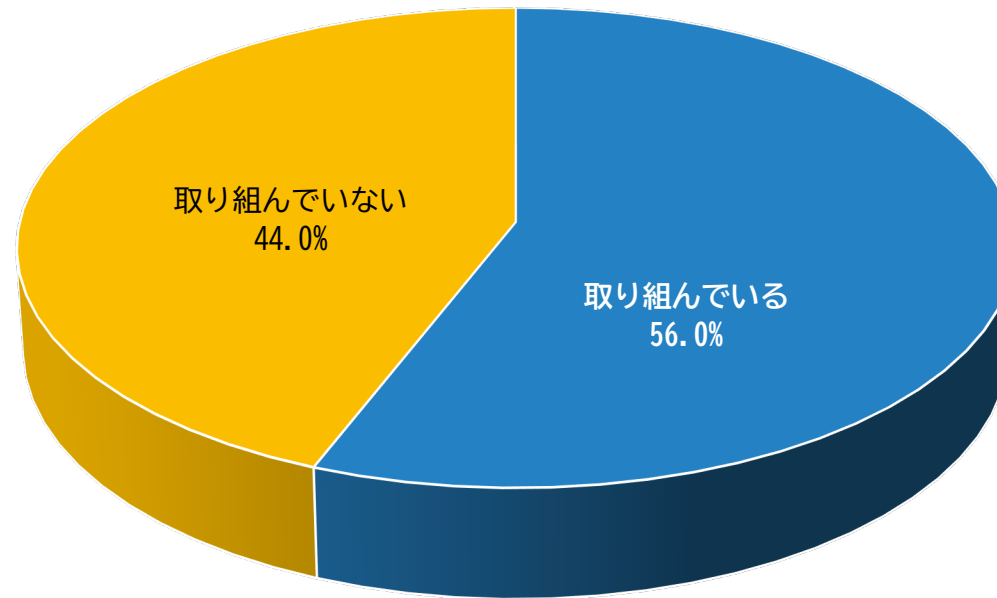
[複数選択可]

今後3年間の主な取り組み

販路開拓の課題



6-1 取り組み状況

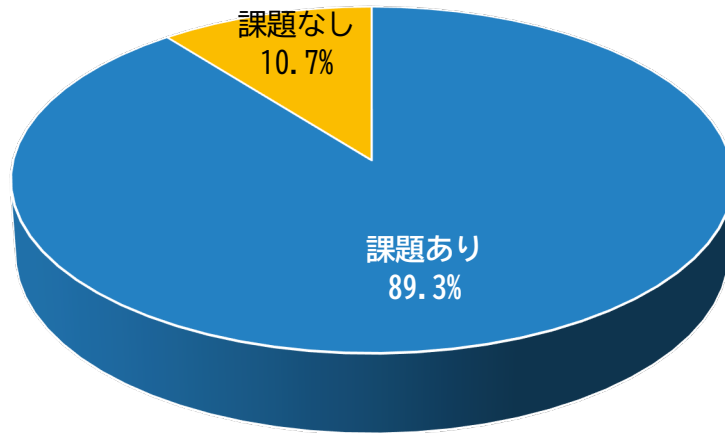


Q6. 新製品や生産技術の開発等に係る貴社の取り組み状況について

回答数：75/136社

※6-1で「取り組んでいる」と回答した企業のみ

6-2 取り組む上での課題



6-3 取り組みの内容

既存分野での新製品の開発・提案

44

新技術の導入

40

既存製品の新規の販路開拓

35

保有技術の高度化

30

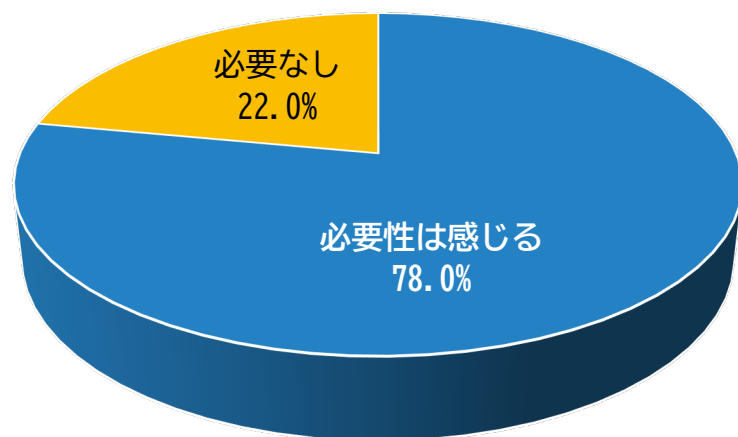
新分野での事業開発・展開

28

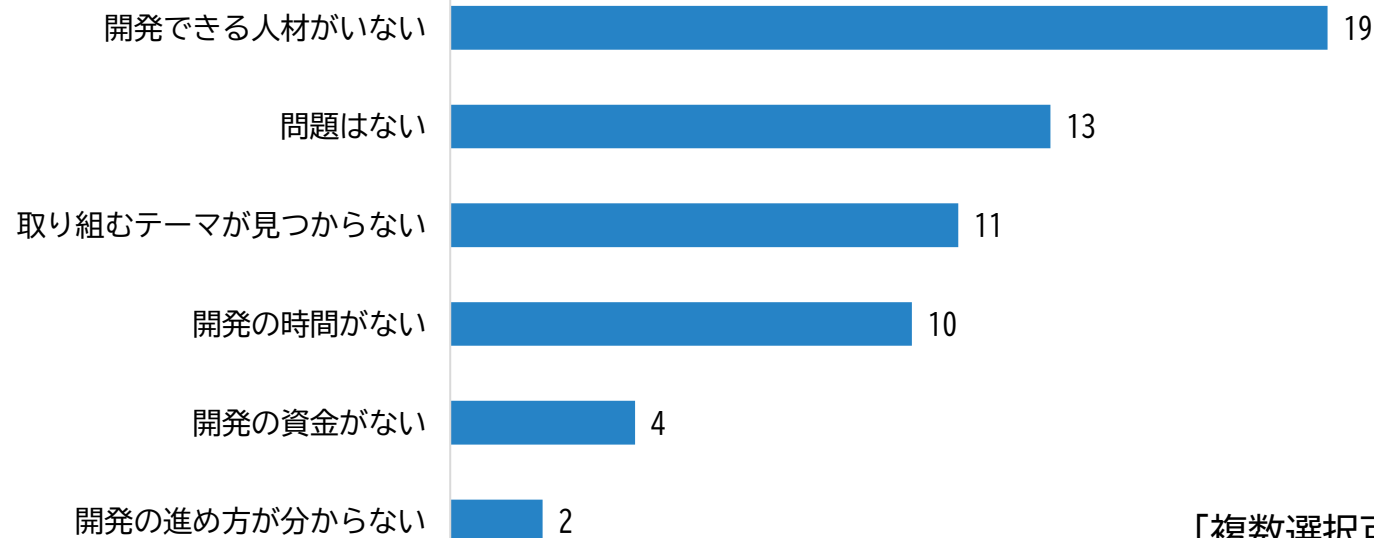
[複数選択可]

※6-1で「取り組んでいない」と回答した企業のみ

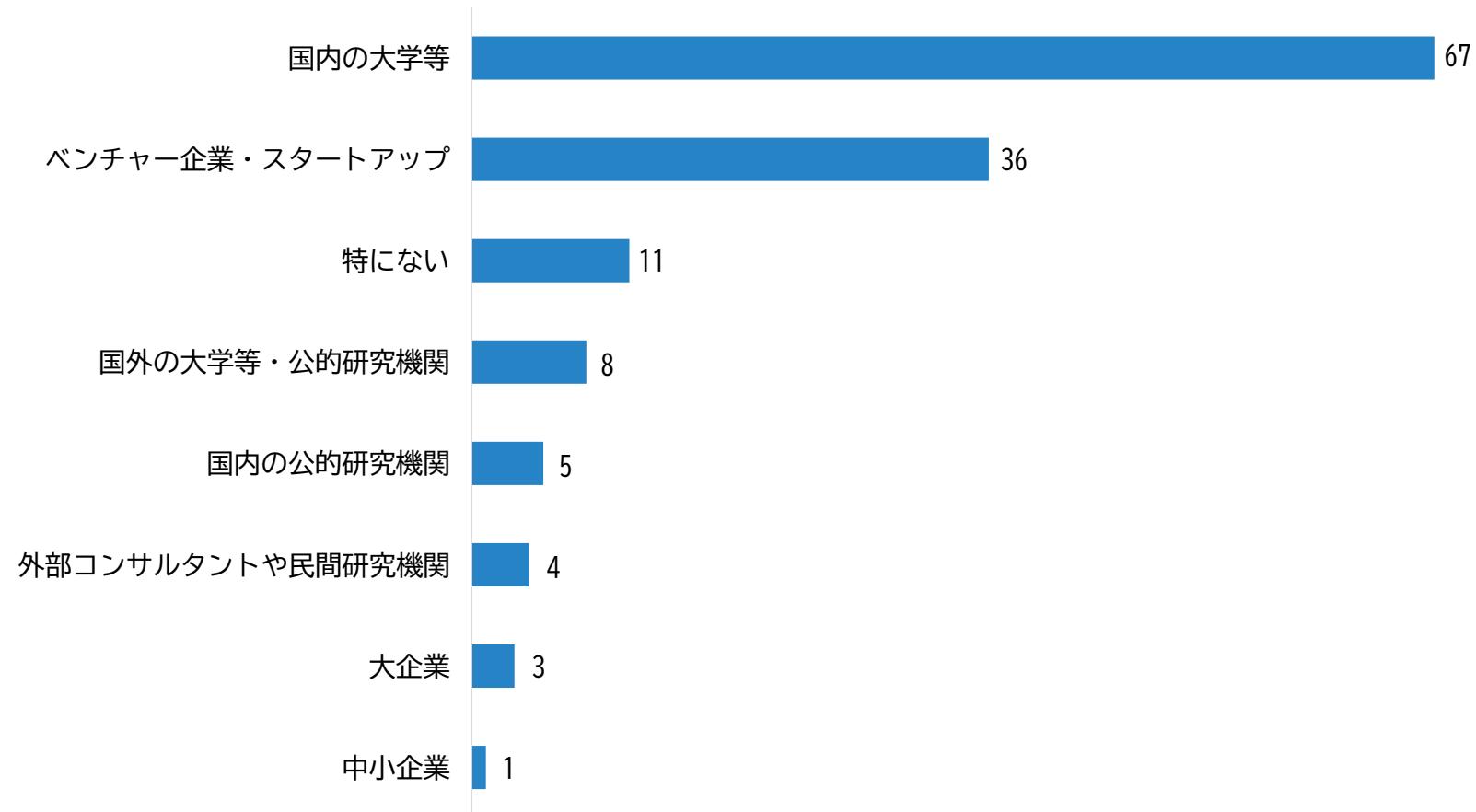
6-4 取り組む必要性



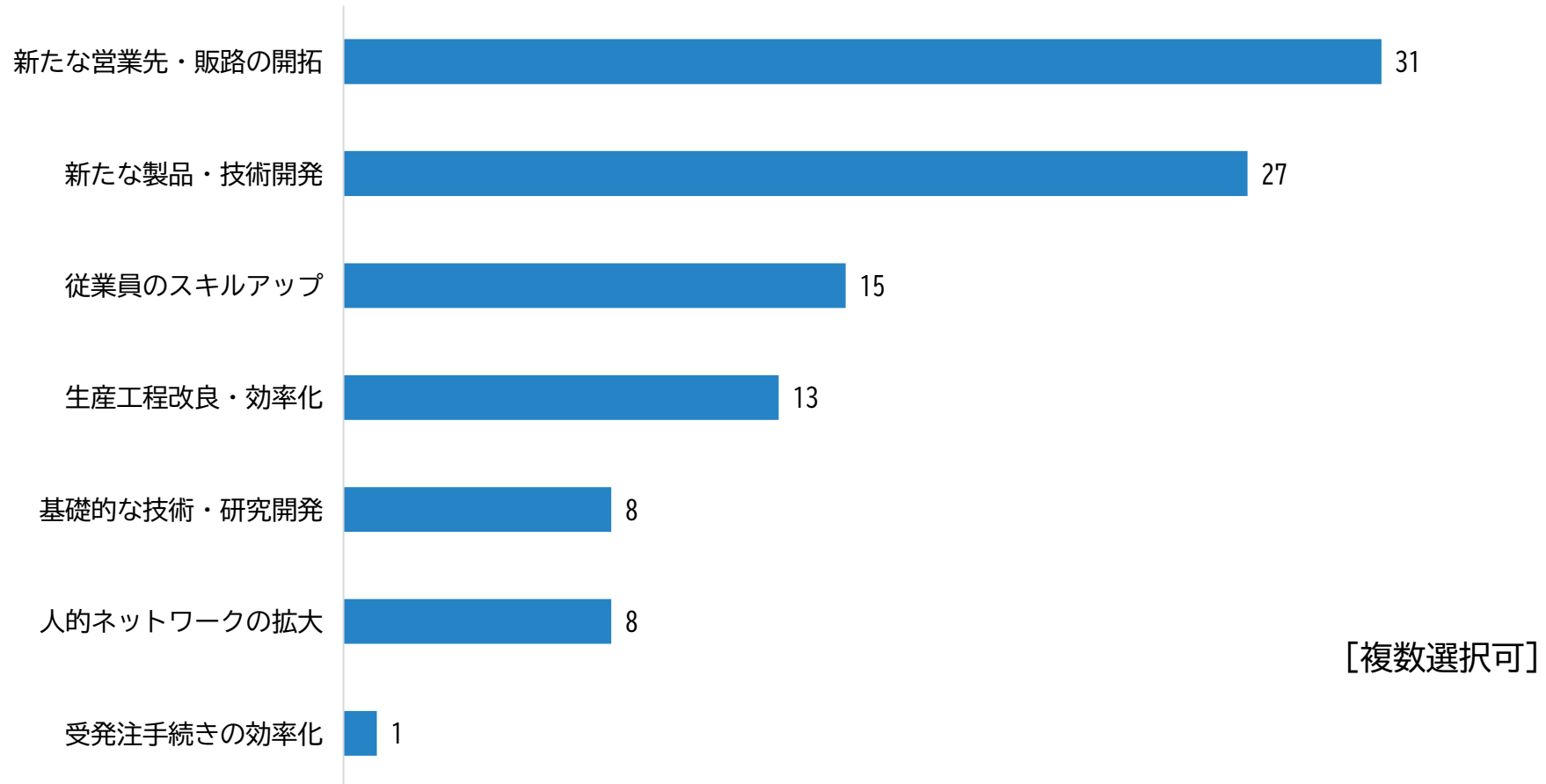
6-5 新技術・新開発における問題



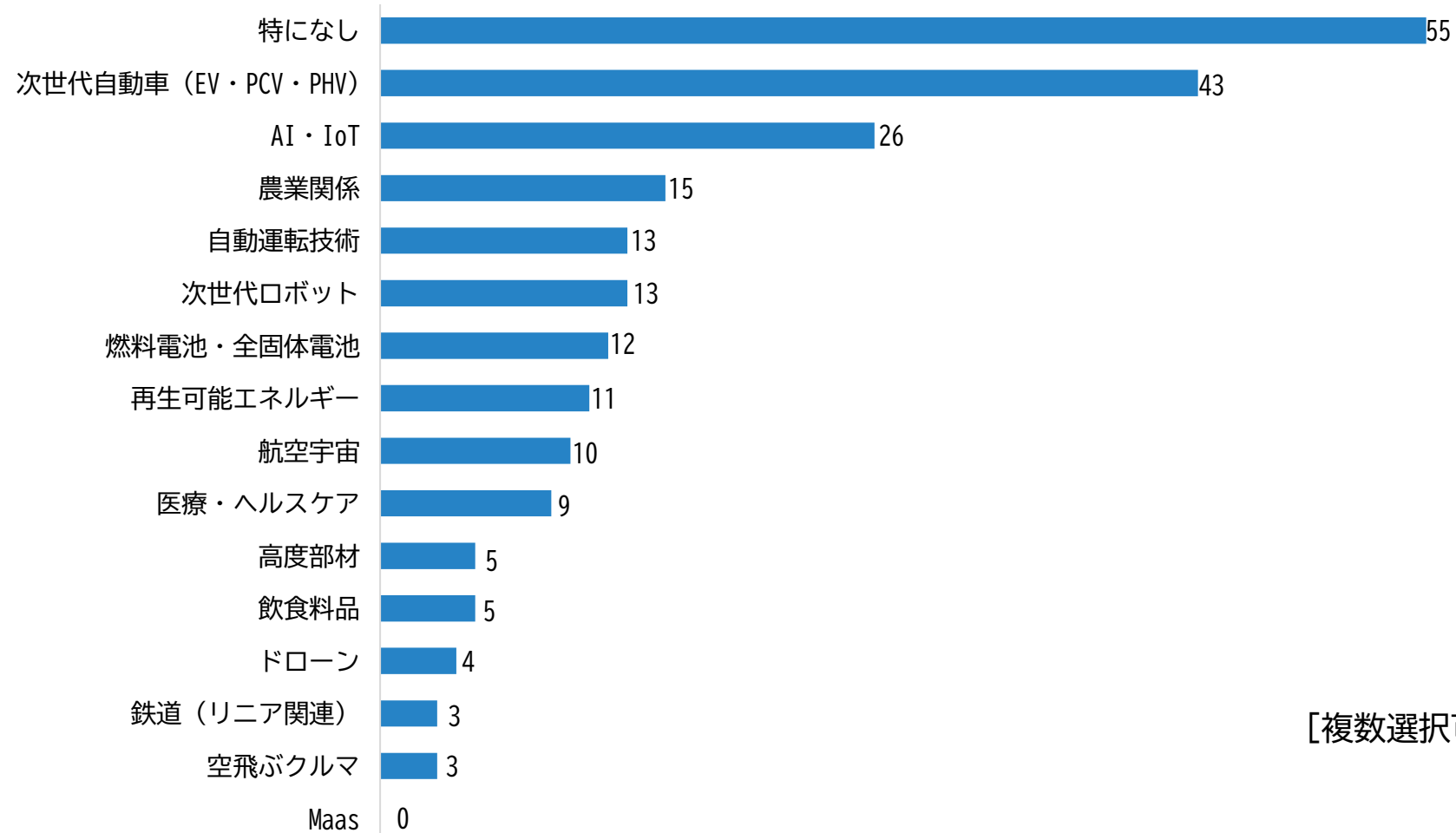
[複数選択可]

7-1 今後の連携意向

[複数選択可]

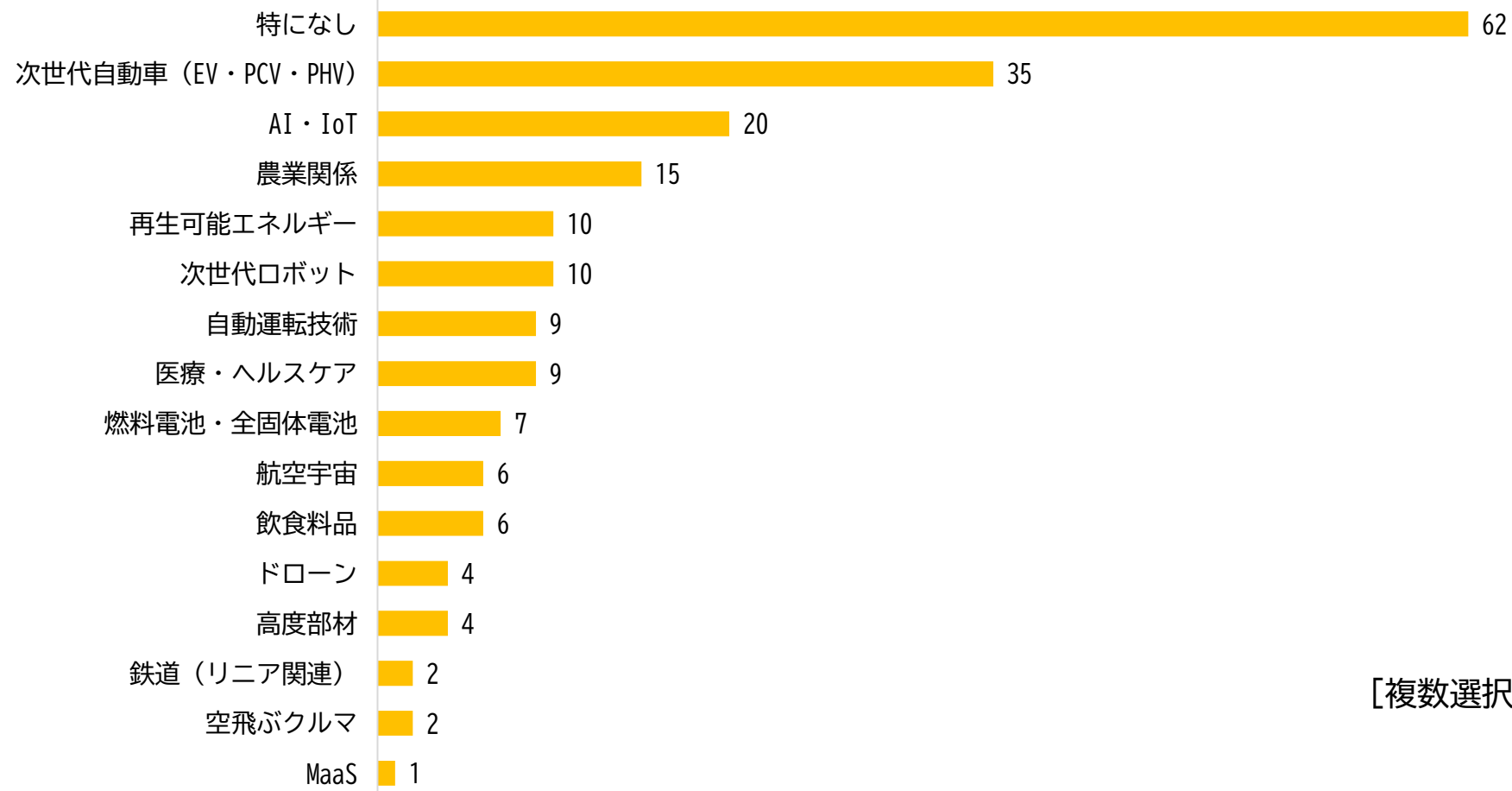
7-2 期待する効果等

8-1 取り組み中の領域



[複数選択可]

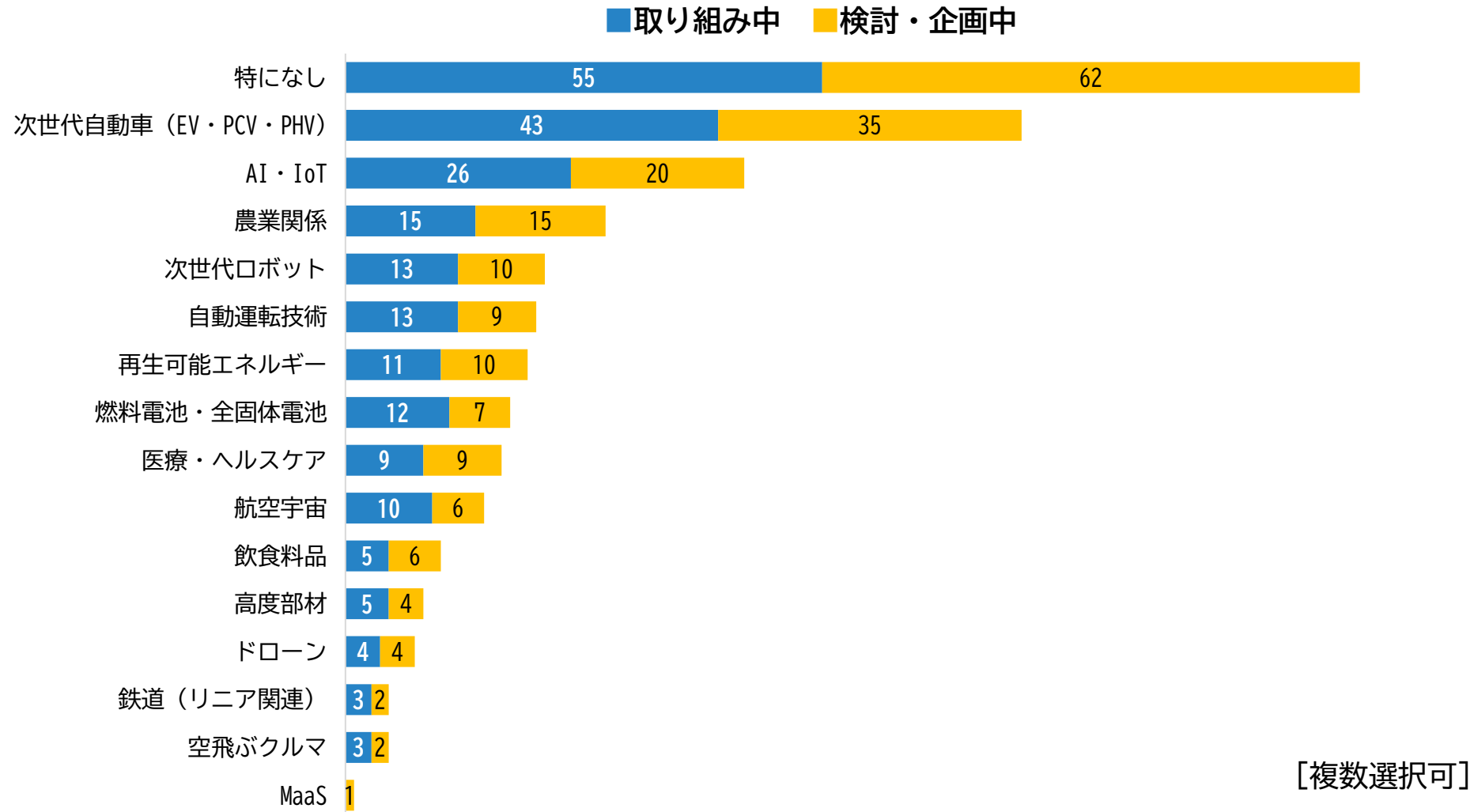
8-2 検討・計画中の領域



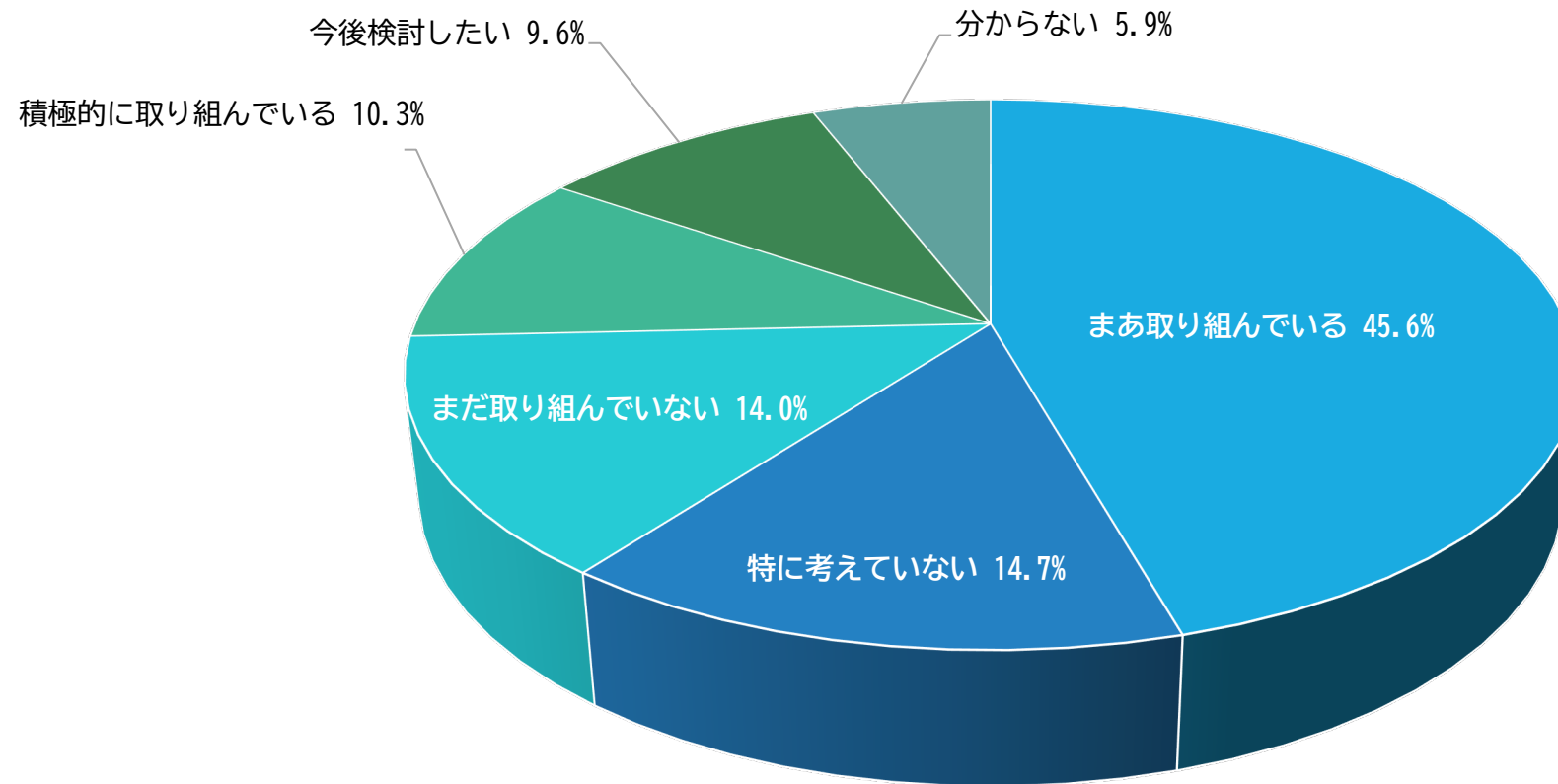
[複数選択可]

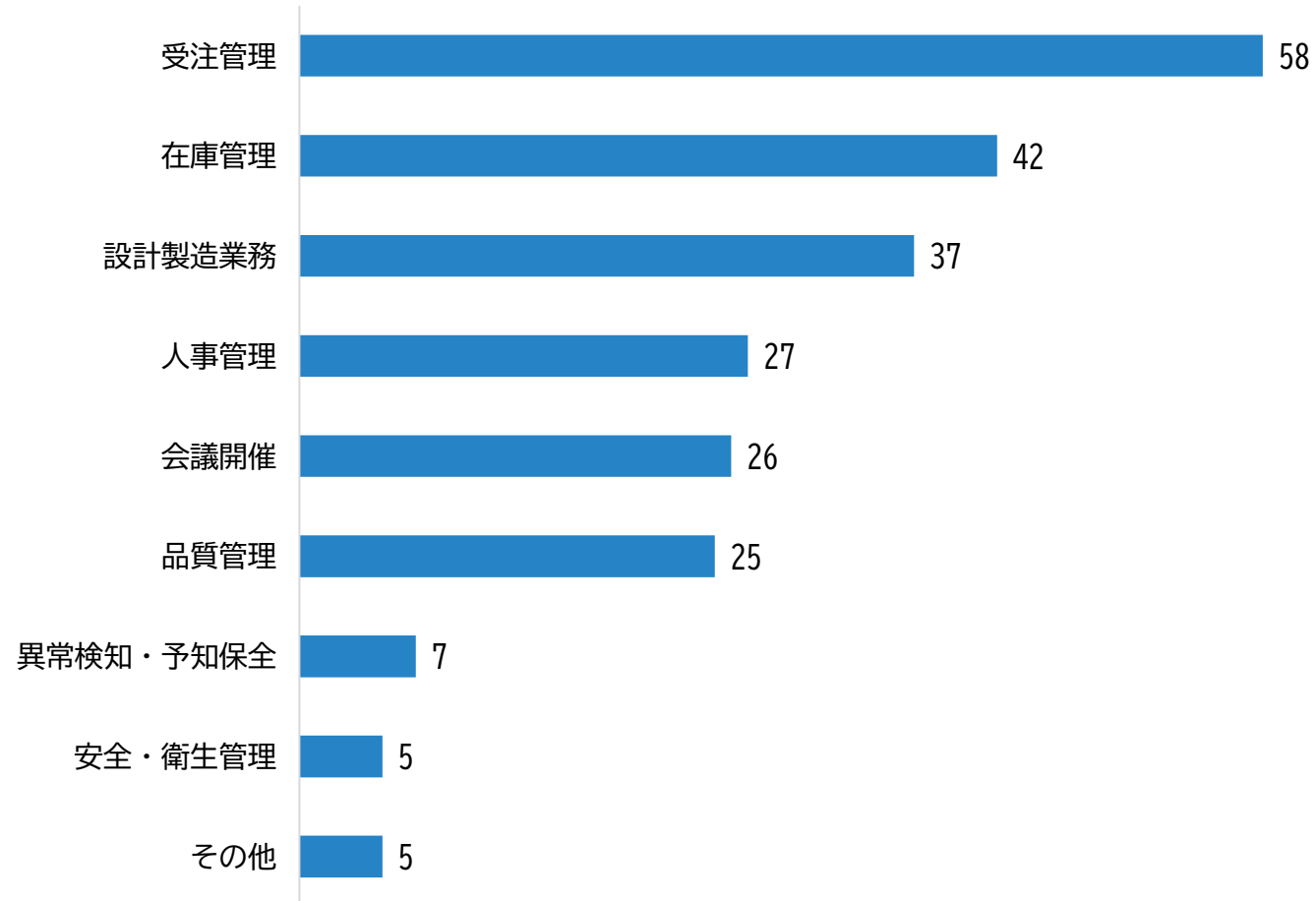
Q8. 注目している領域について(合算)

回答数：136/136社



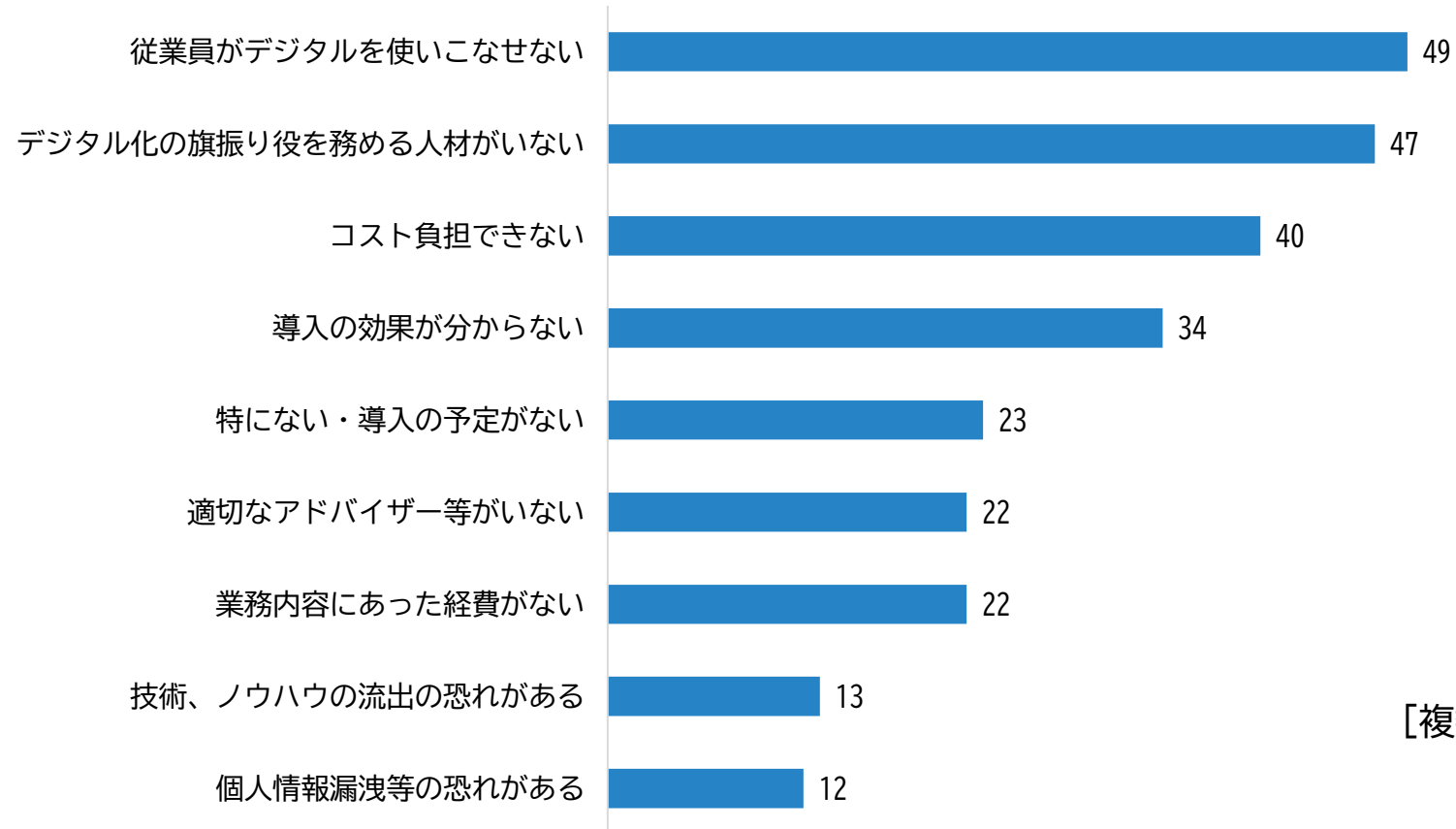
9-1 現在の取り組み状況



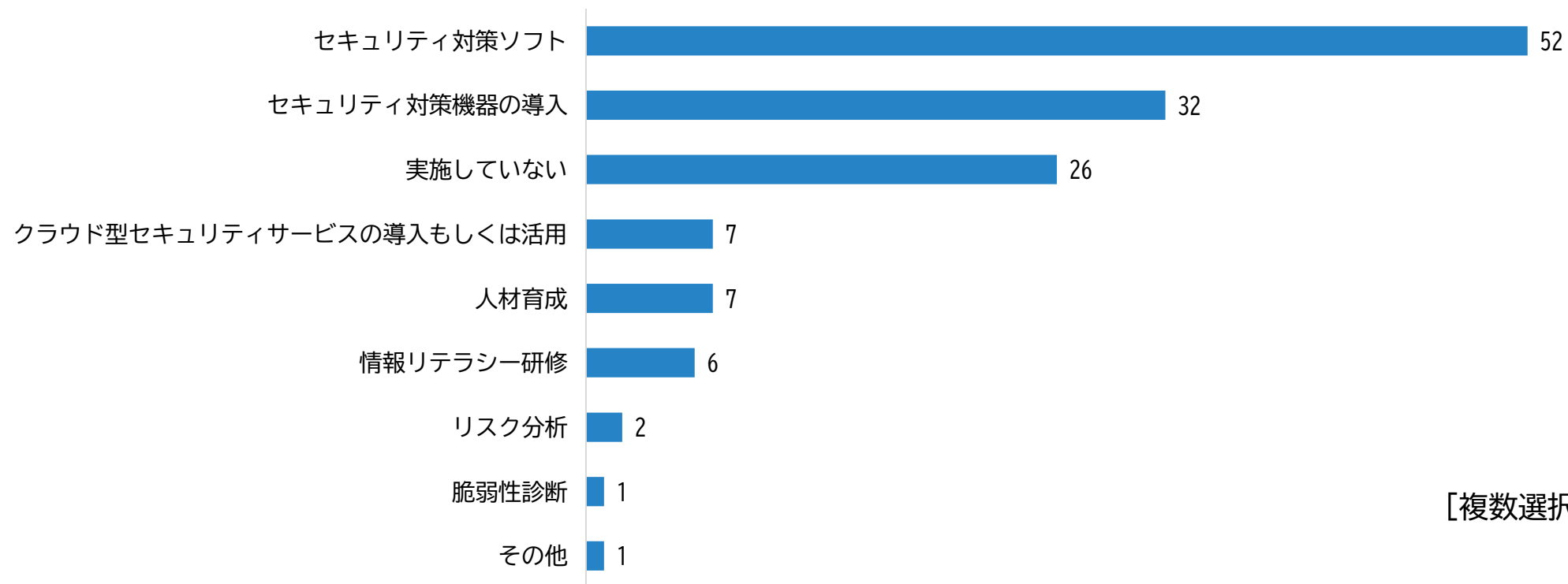
9-2 既に導入済みのもの

[複数選択可]

9-3 デジタル化に取り組むうえでの課題

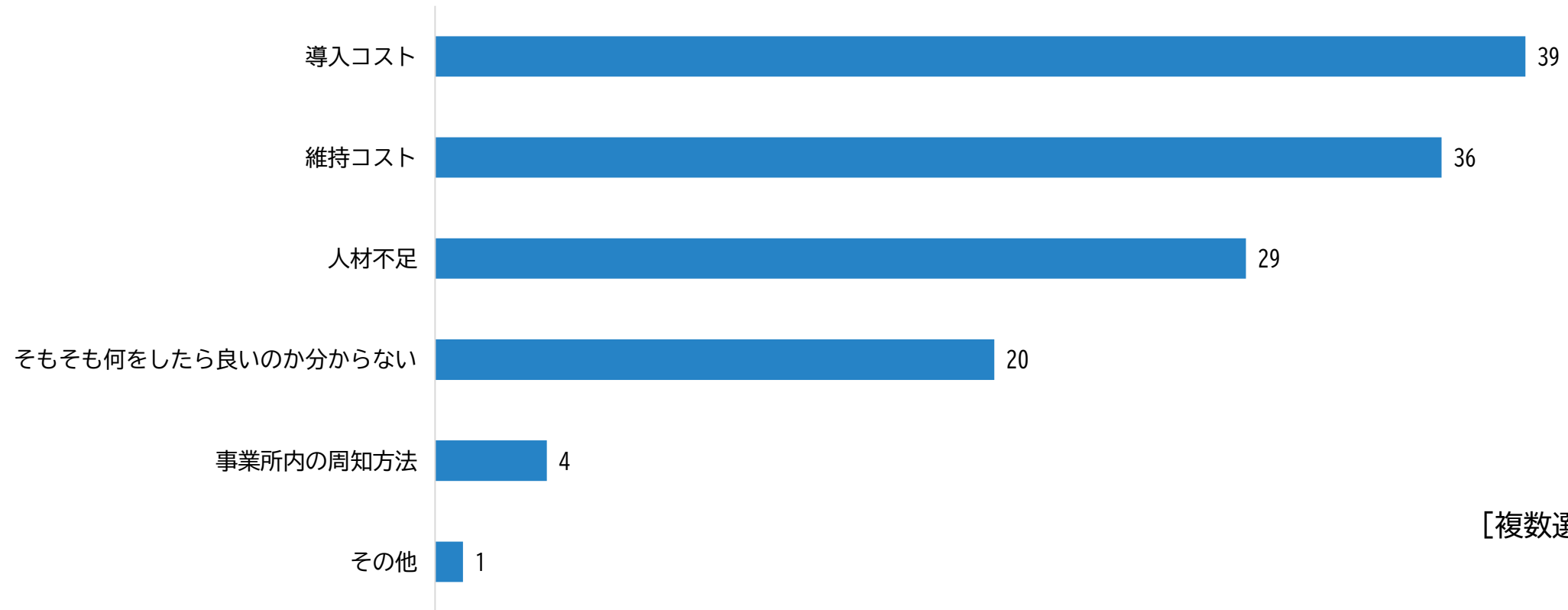


[複数選択可]

10-1 既に実施済みの取り組み

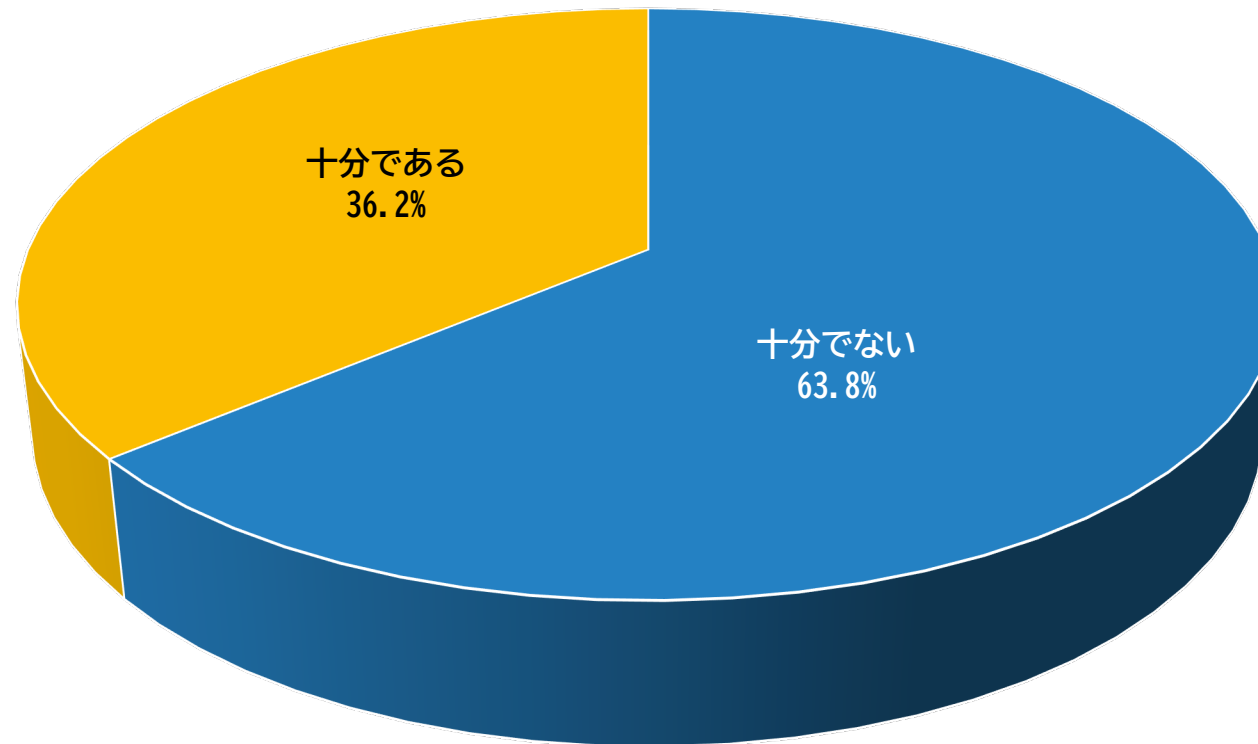
[複数選択可]

10-2 セキュリティ対策導入の課題



[複数選択可]

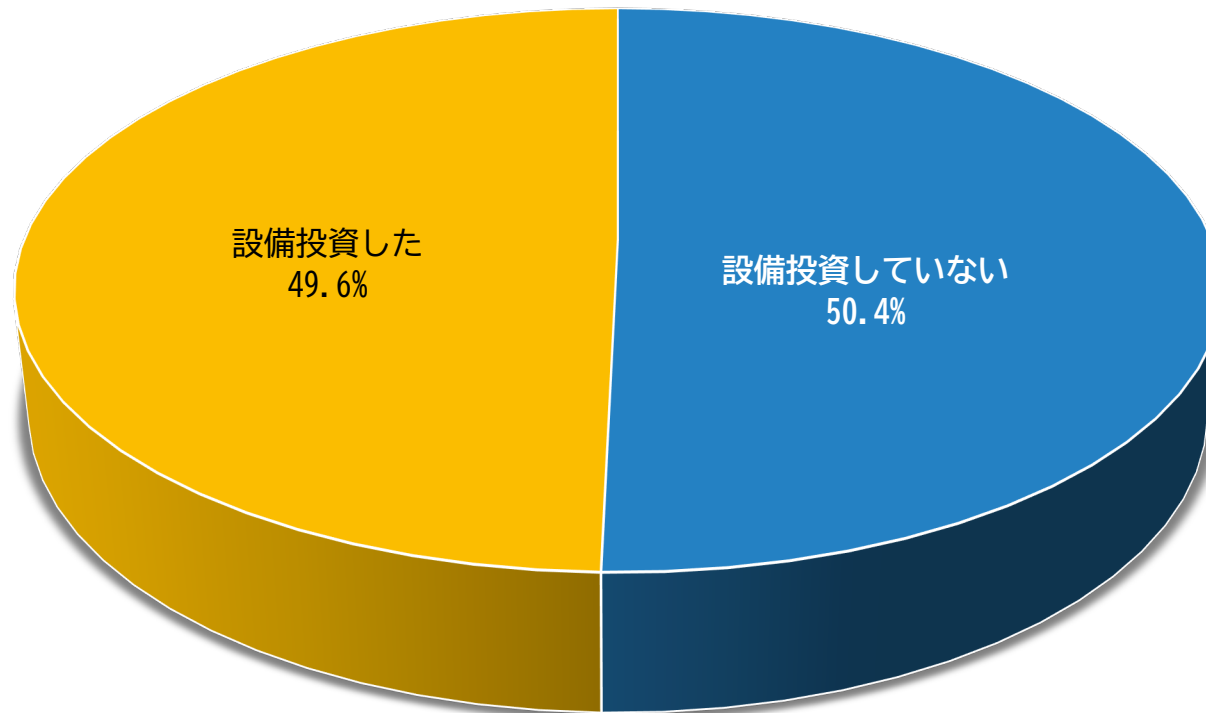
10-3 現状でのセキュリティ対策は十分だと思いますか

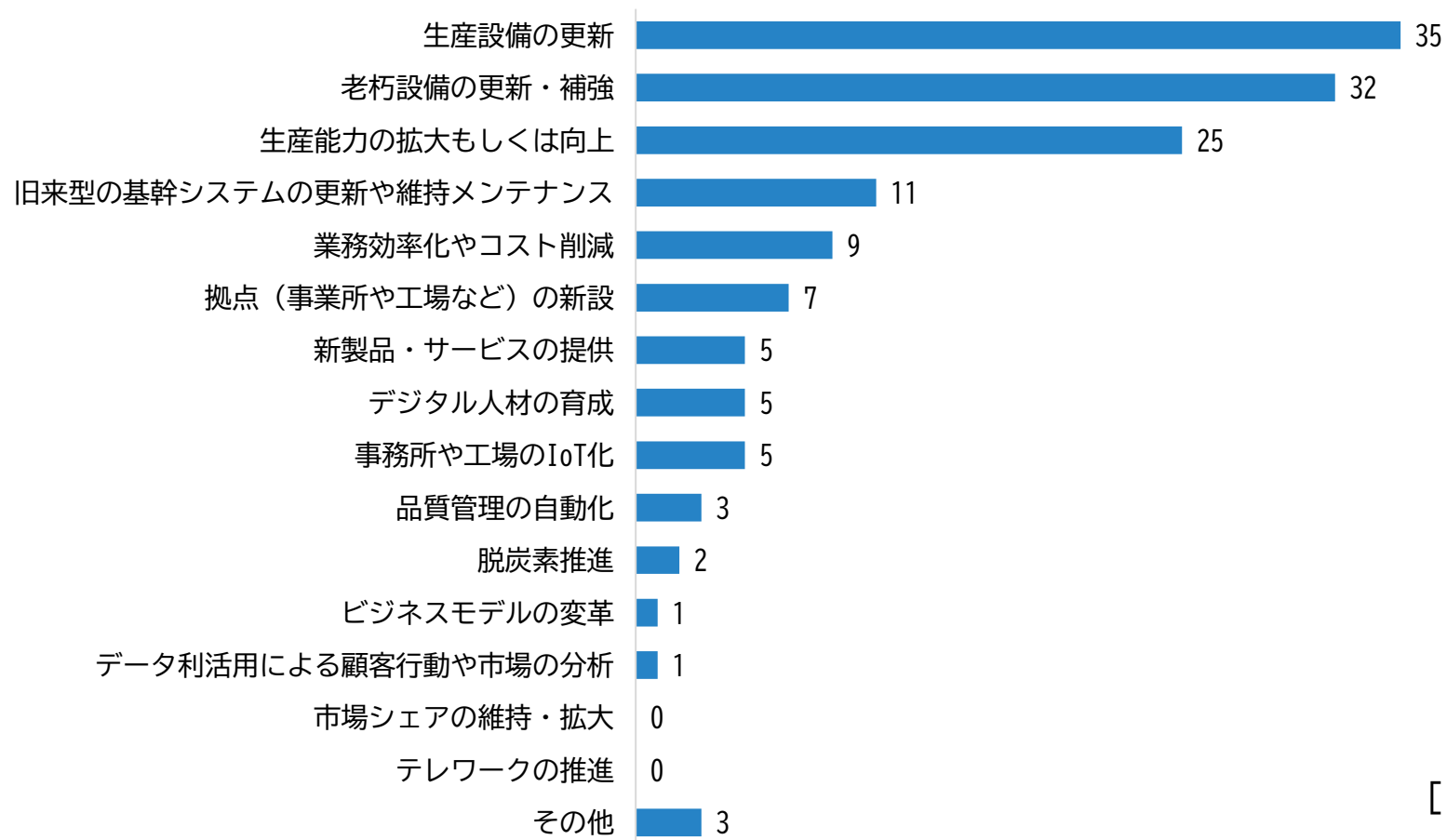


10-4 十分でない場合、何が不足していますか

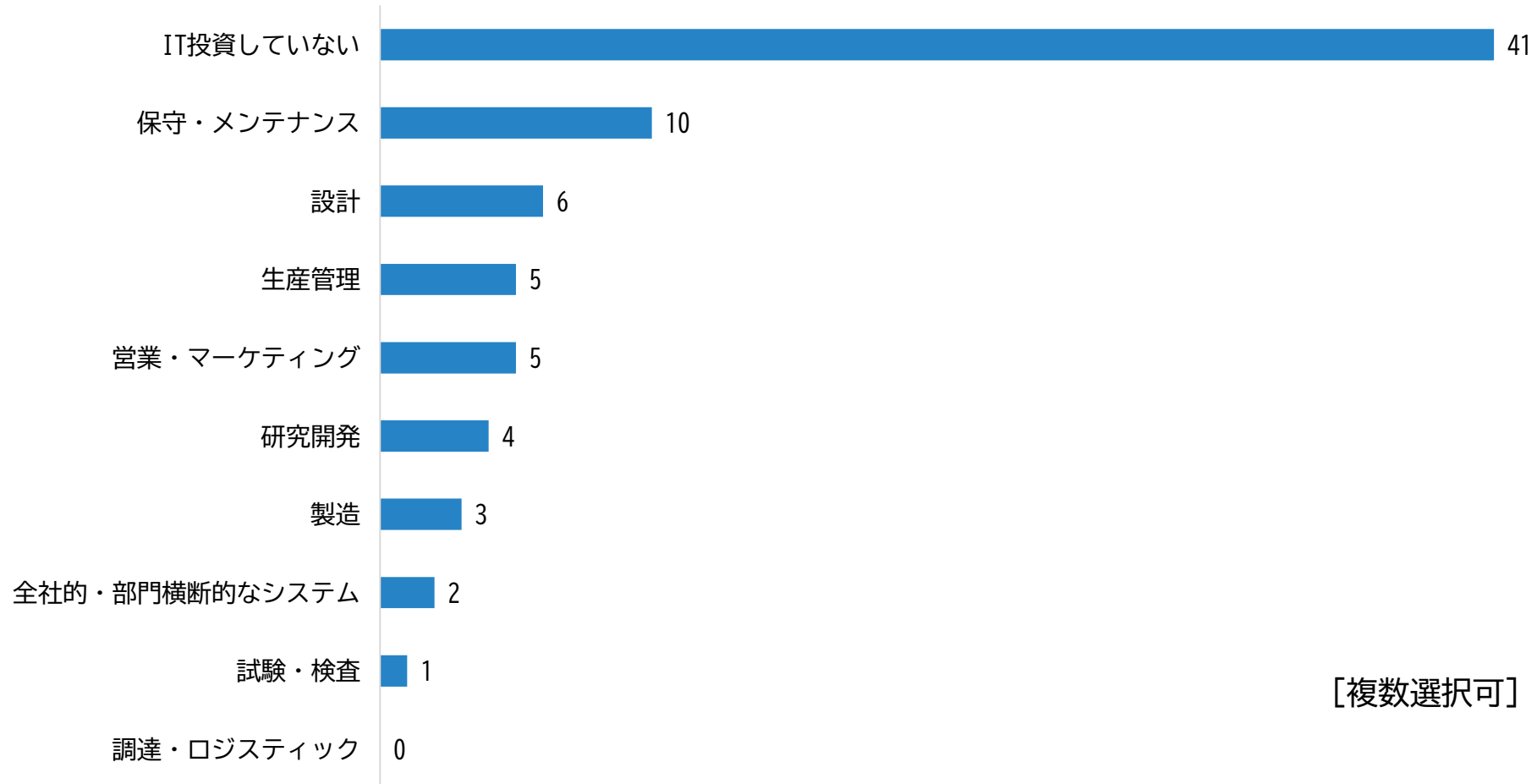
- UTM（統合脅威管理）の導入と規定
- インターネットなどによる情報漏洩
- サイバーセキュリティに対する知識を持った人材不足
- サイバーセキュリティ保険に未加入
- セキュリティー知識を持つ人材
- セキュリティ対策機器の導入
- データ管理の徹底ができていないか未知数
- どういったリスクに対してどんな対策が必要かまだ把握できていない。
- ランサム対策、バックアップデータの担保
- リスク分析
- リテラシー研修を行っていますが、テスト送信した怪しいメールを開封してしまう従業員がまだ存在する
- ログの監視を定常的にできていない
- 維持コスト
- 今のセキュリティーで攻撃された時大丈夫な保証がない
- 資金
- 自工会セキュリティレベルのハード対策に関する事項
- 従業員のリテラシー
- 常に新しい脅威があるので十分とはならない
- 情報管理
- 専門の部署を持っておらずSEもいない
- 全従業員のインシデント発生時の対応について
- 対応の仕方
- 対策ソフトだけでなく、より強固な機器の導入
- 知識
- 入退室の管理

11-1 2024年度の設備投資の有無



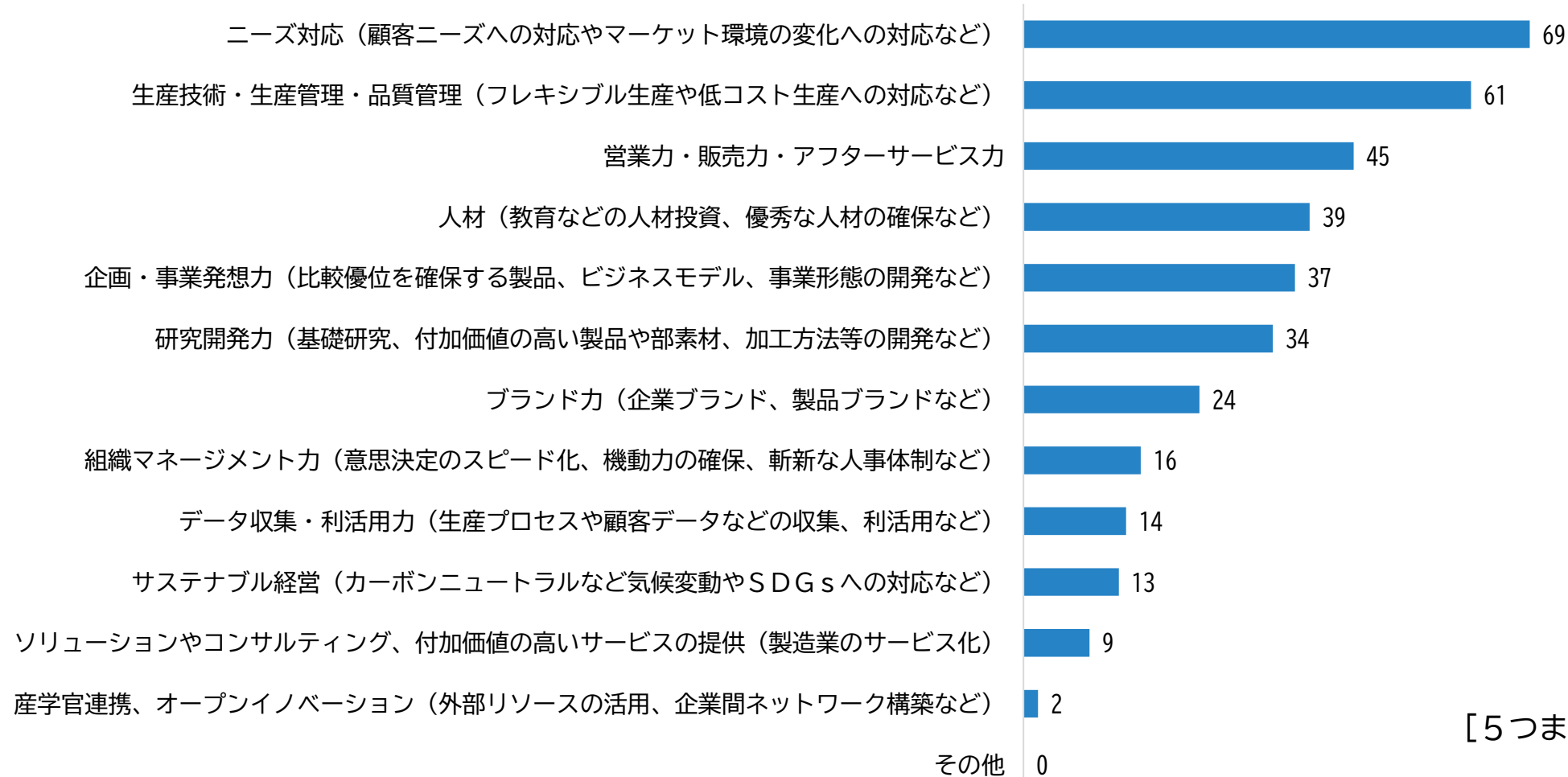
11-2 設備投資の目的（11-1で「設備投資した」と答えた企業のみ）

[3つまで選択可]

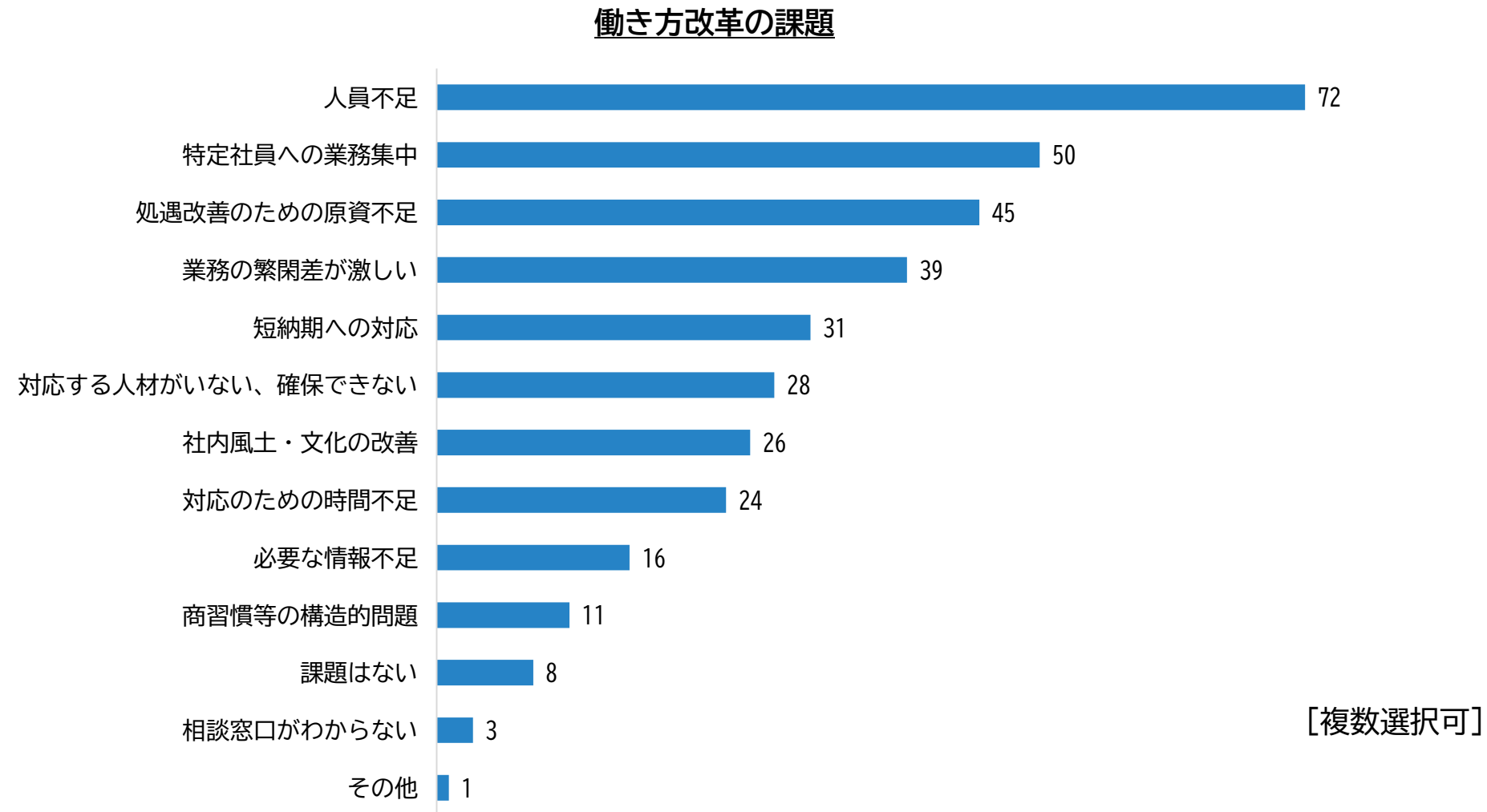
11-3 この1年間のIT投資状況（11-1で「設備投資していない」と答えた企業のみ）

[複数選択可]

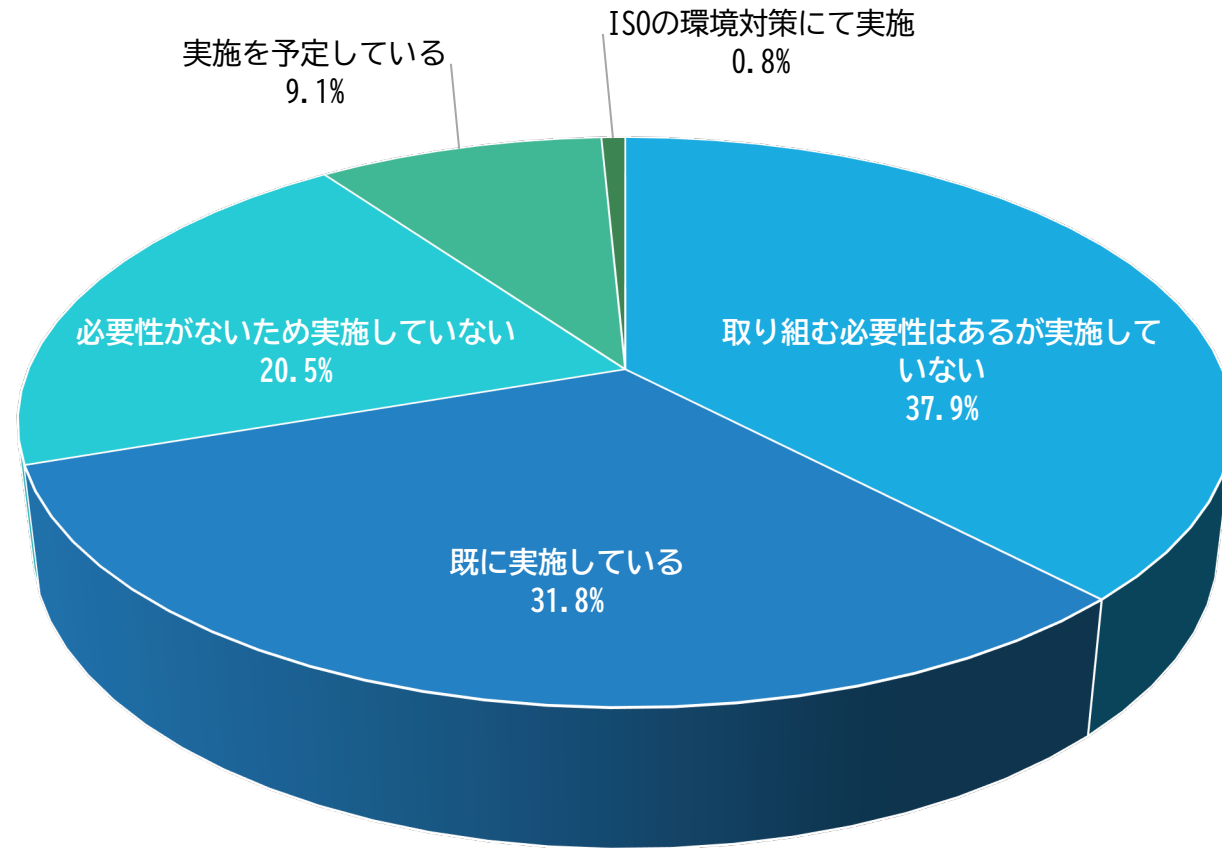
競争力の源泉として重視しているもの



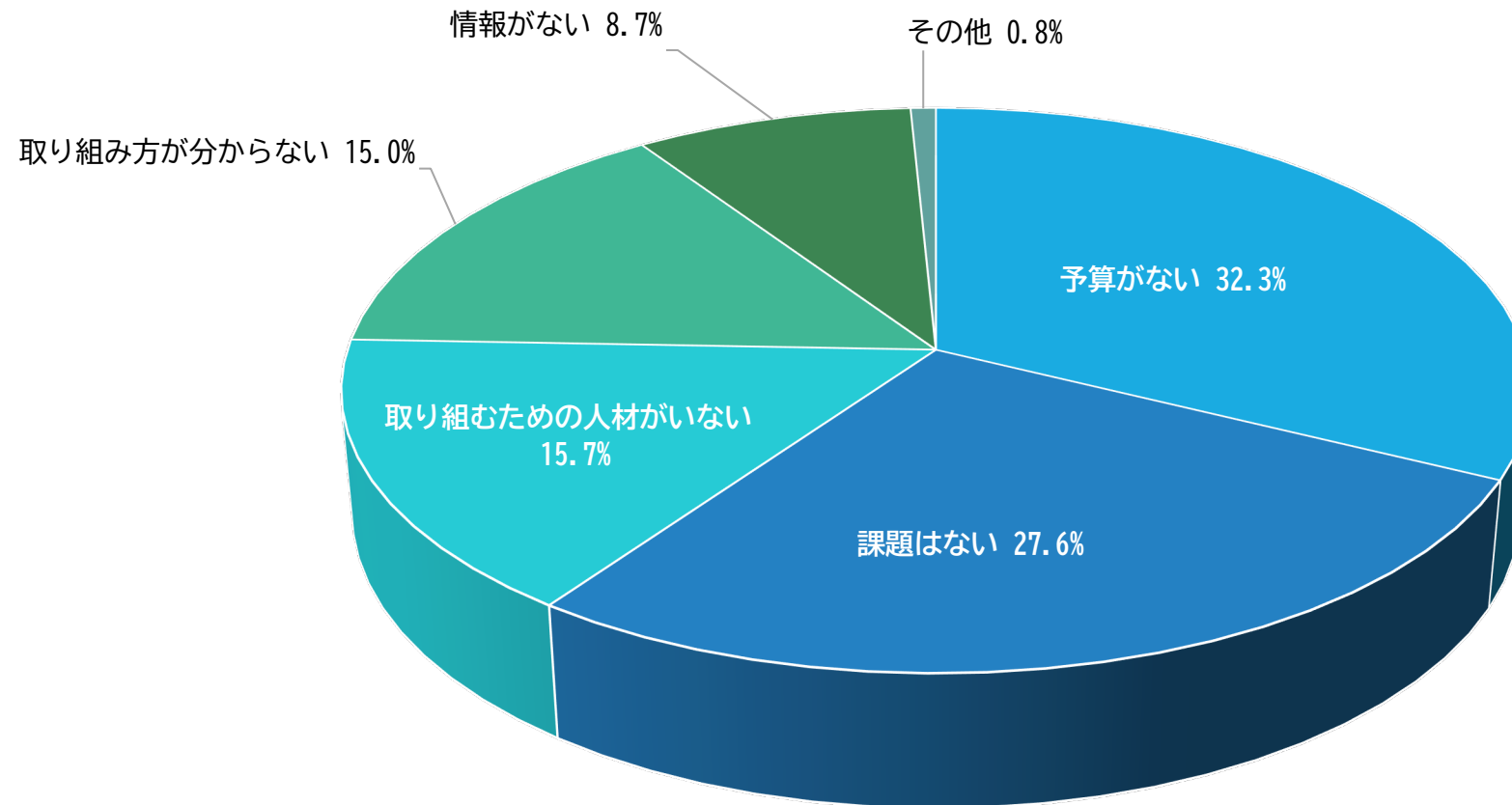
[5つまで選択可]



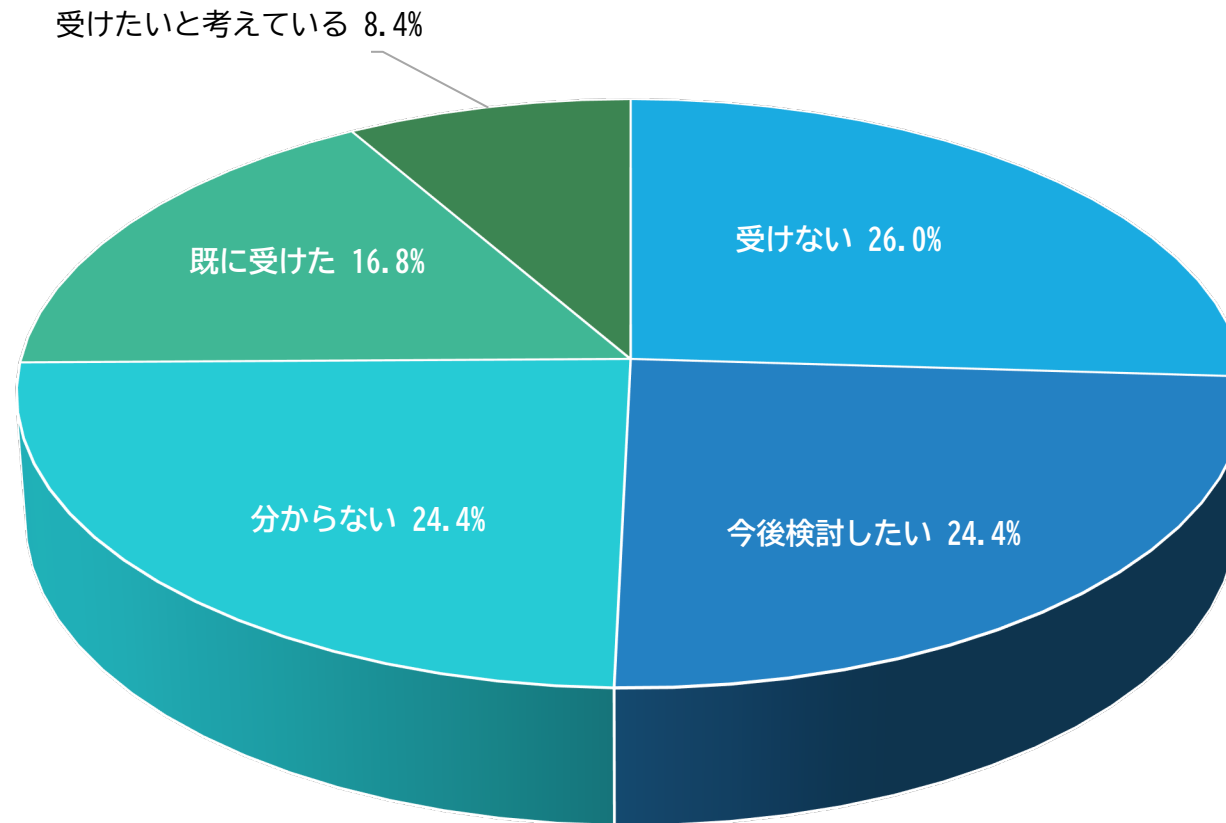
14-1 事業活動に伴う省エネ対策の取り組み状況



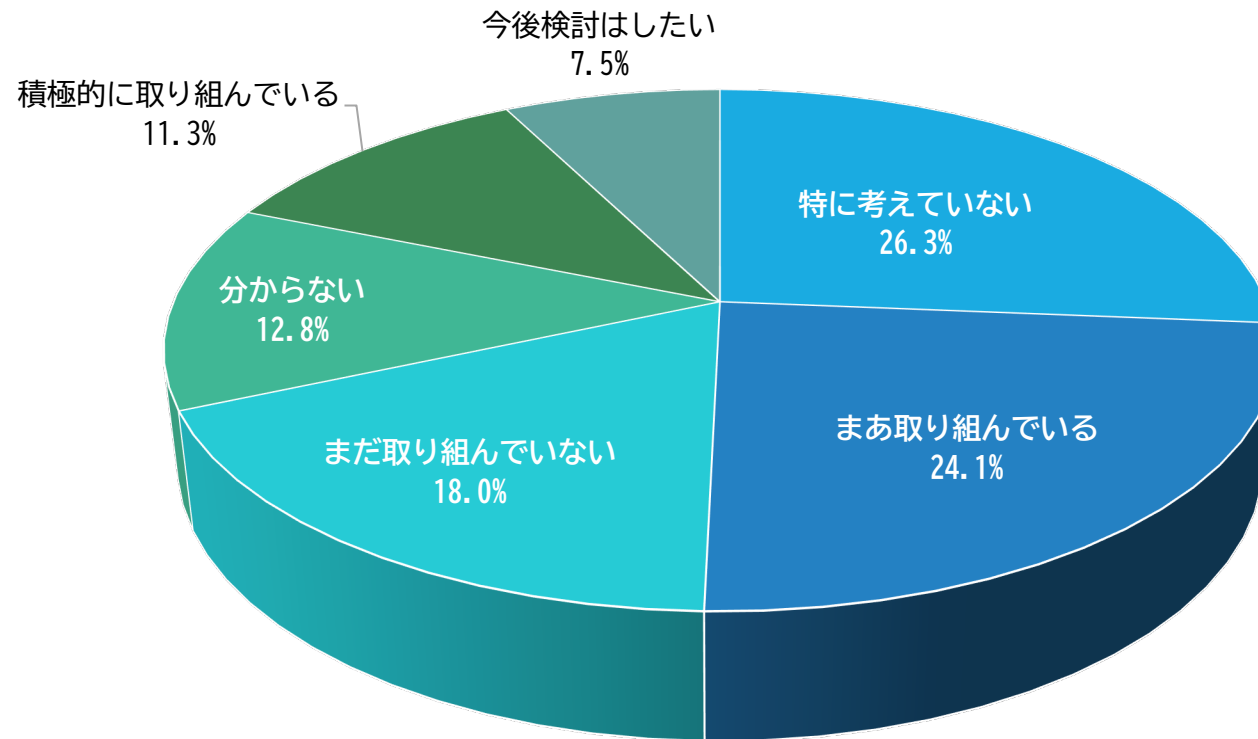
14-2 省エネ対策に取り組むうえでの課題



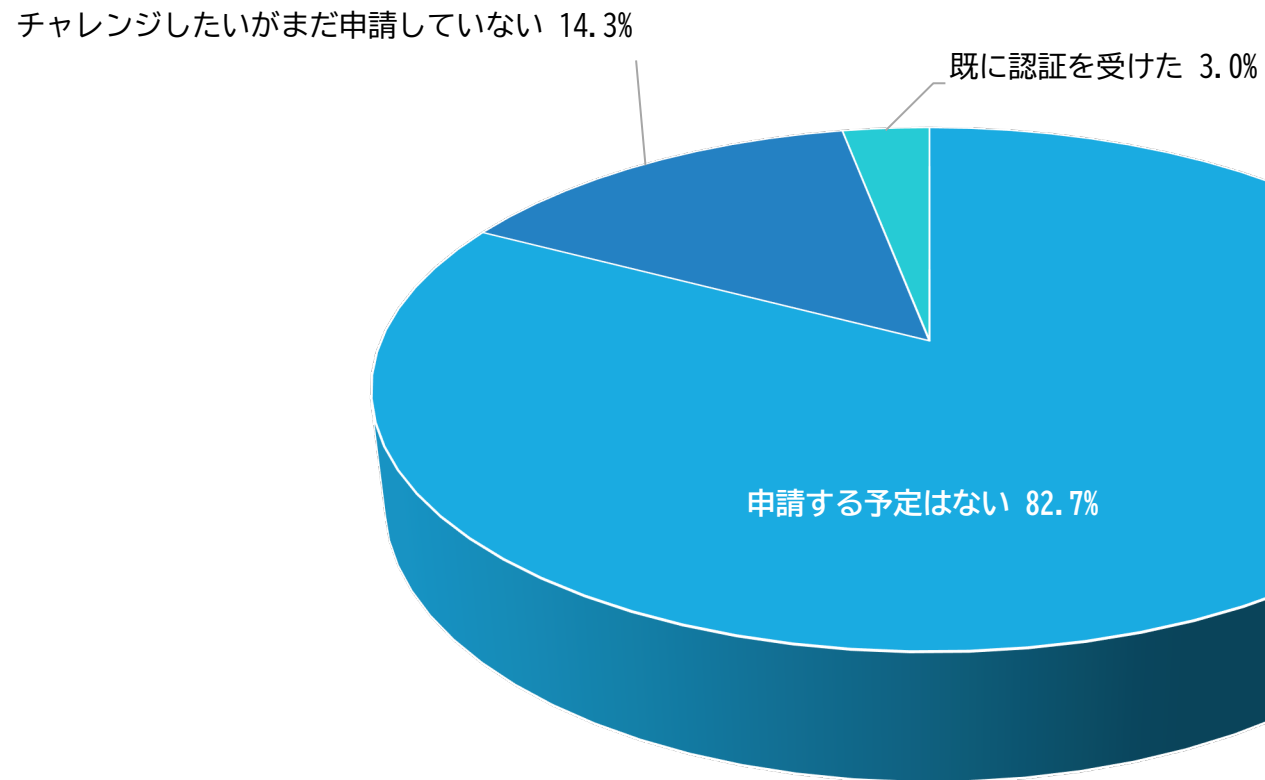
14-3 省エネ診断について

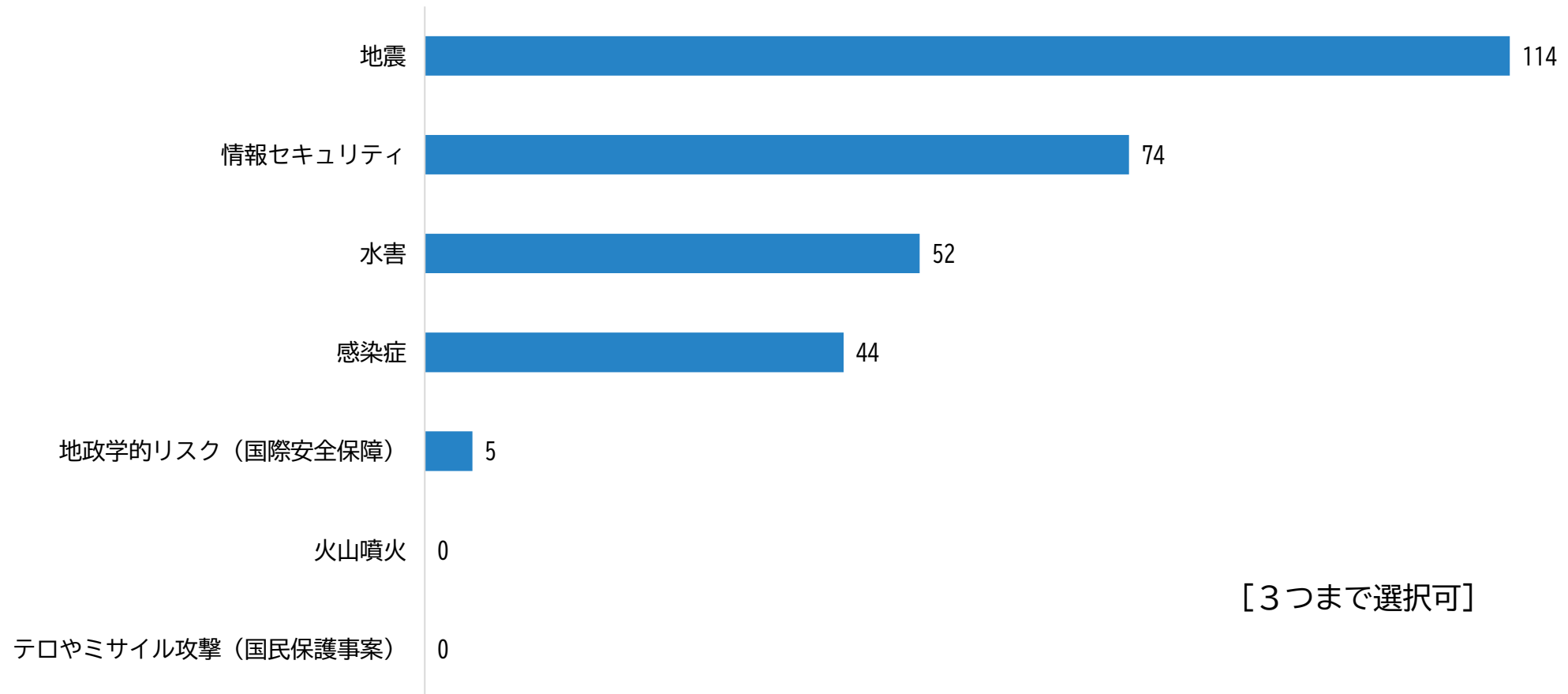


14-4 カーボンニュートラルに対する取り組み状況



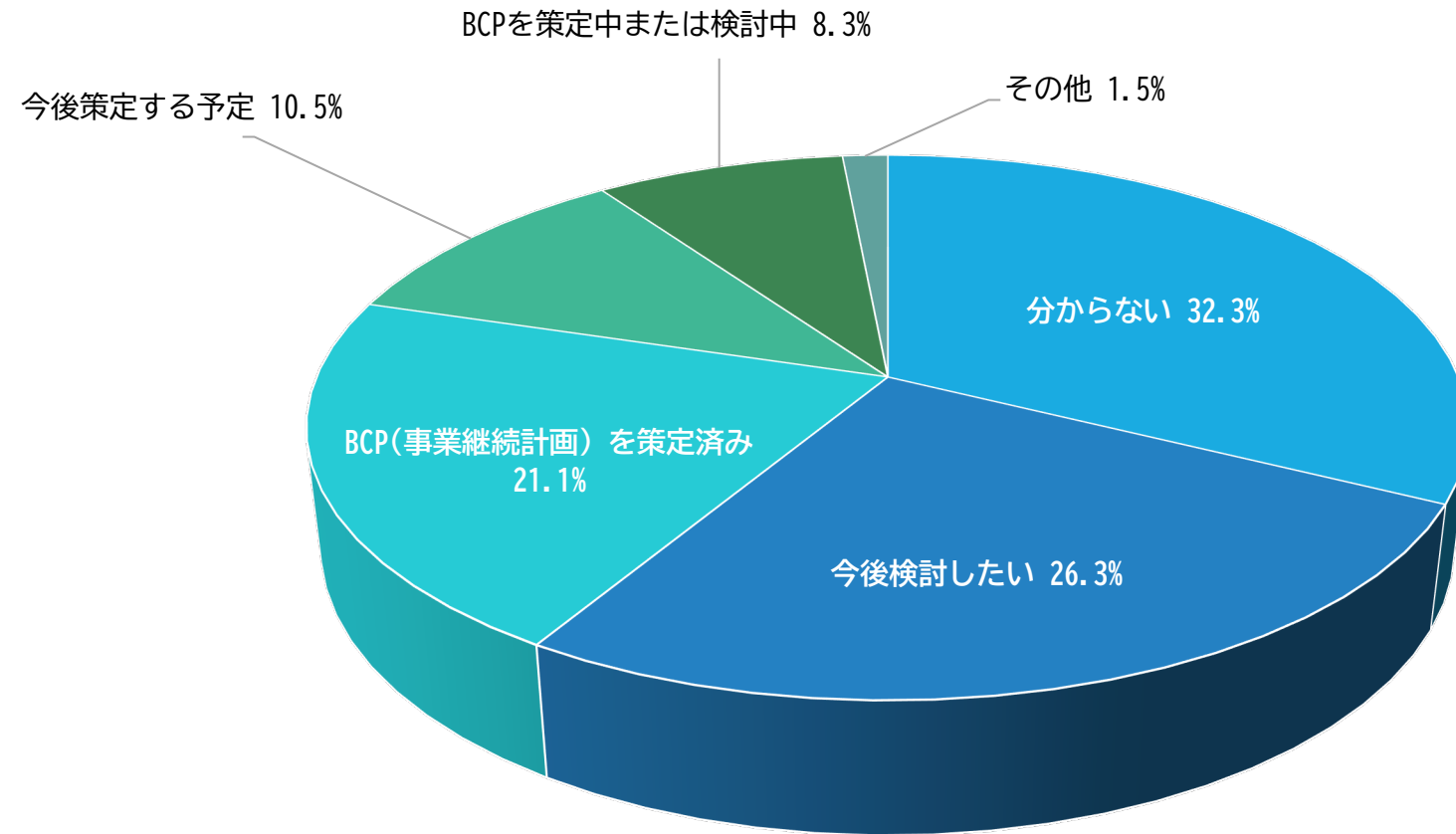
14-5 SBT認証について

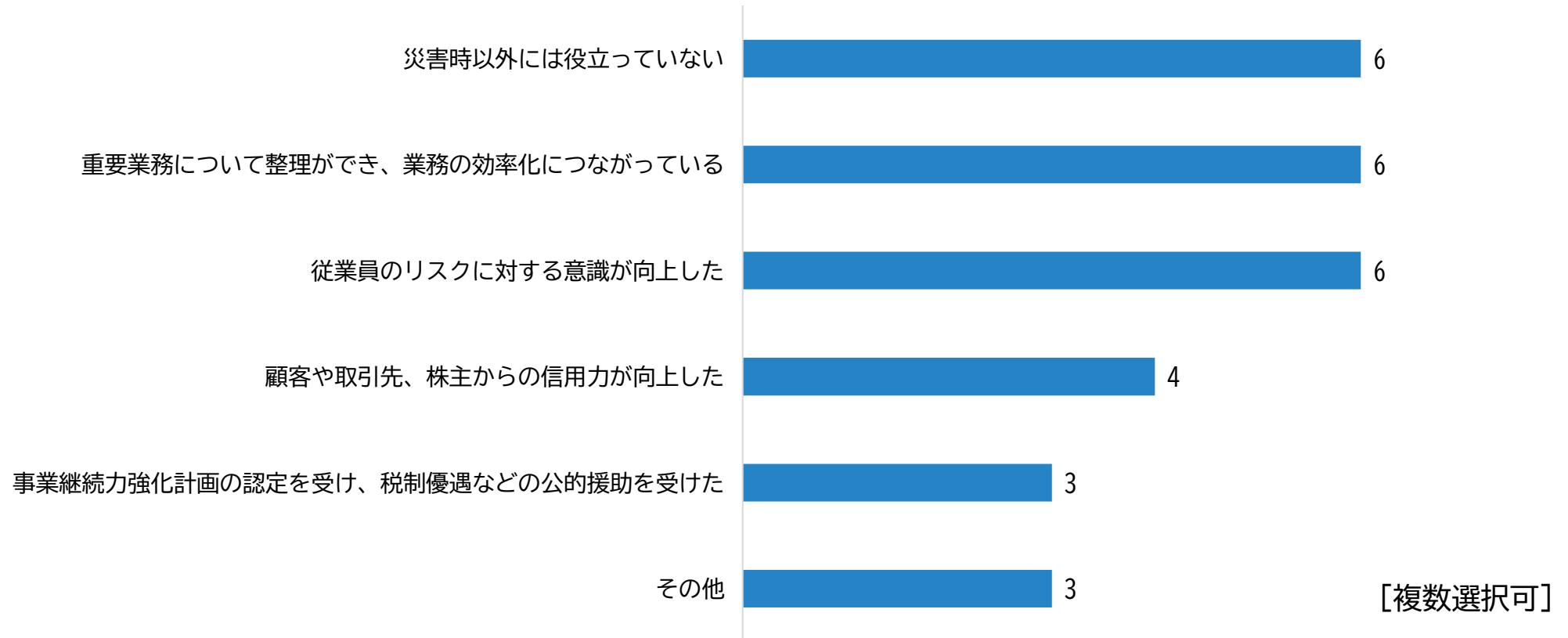


15-1 どのようなリスクに対する備えが必要と考えているか

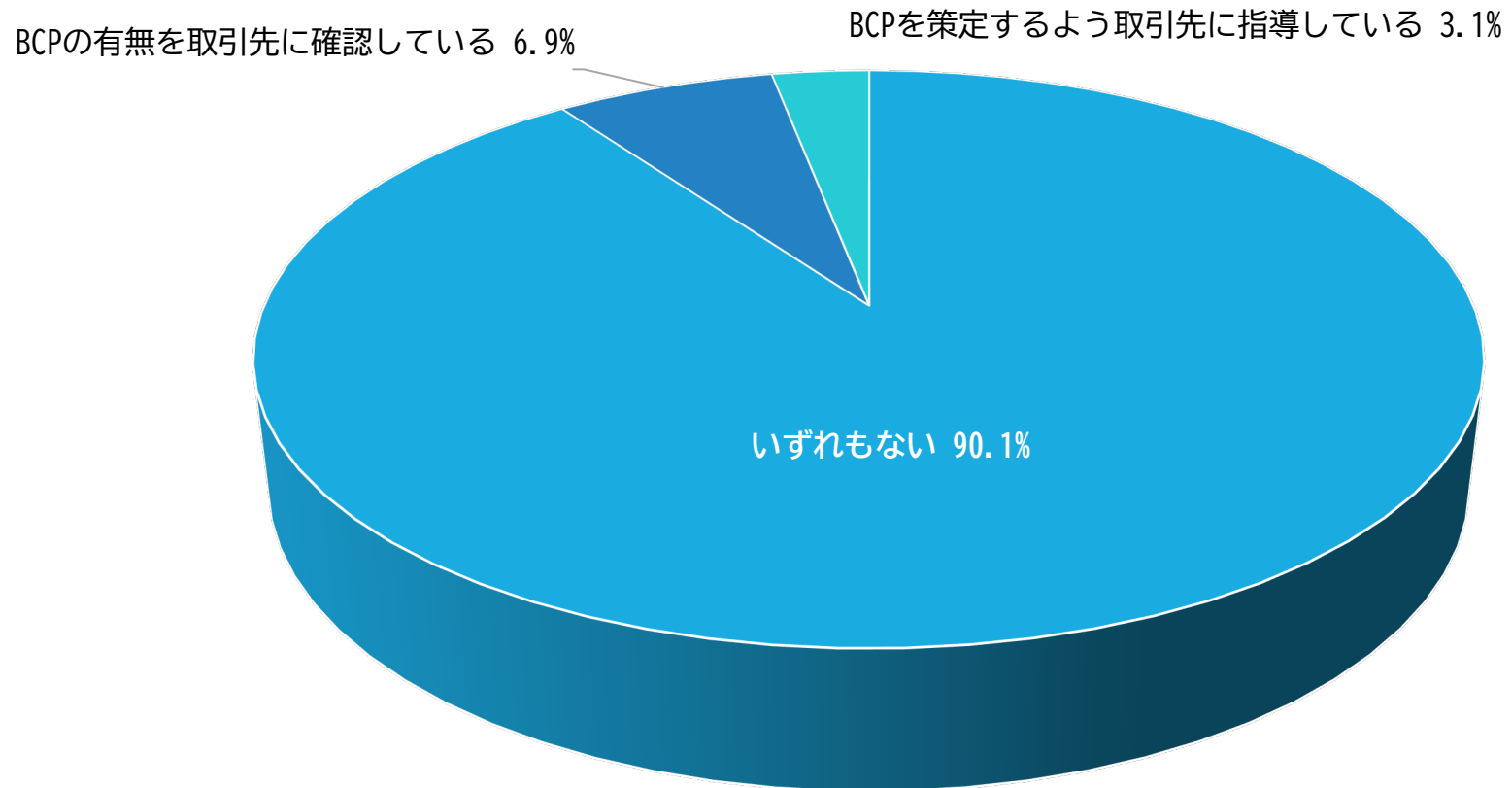
[3つまで選択可]

15-2 BCP（事業継続計画）の策定状況

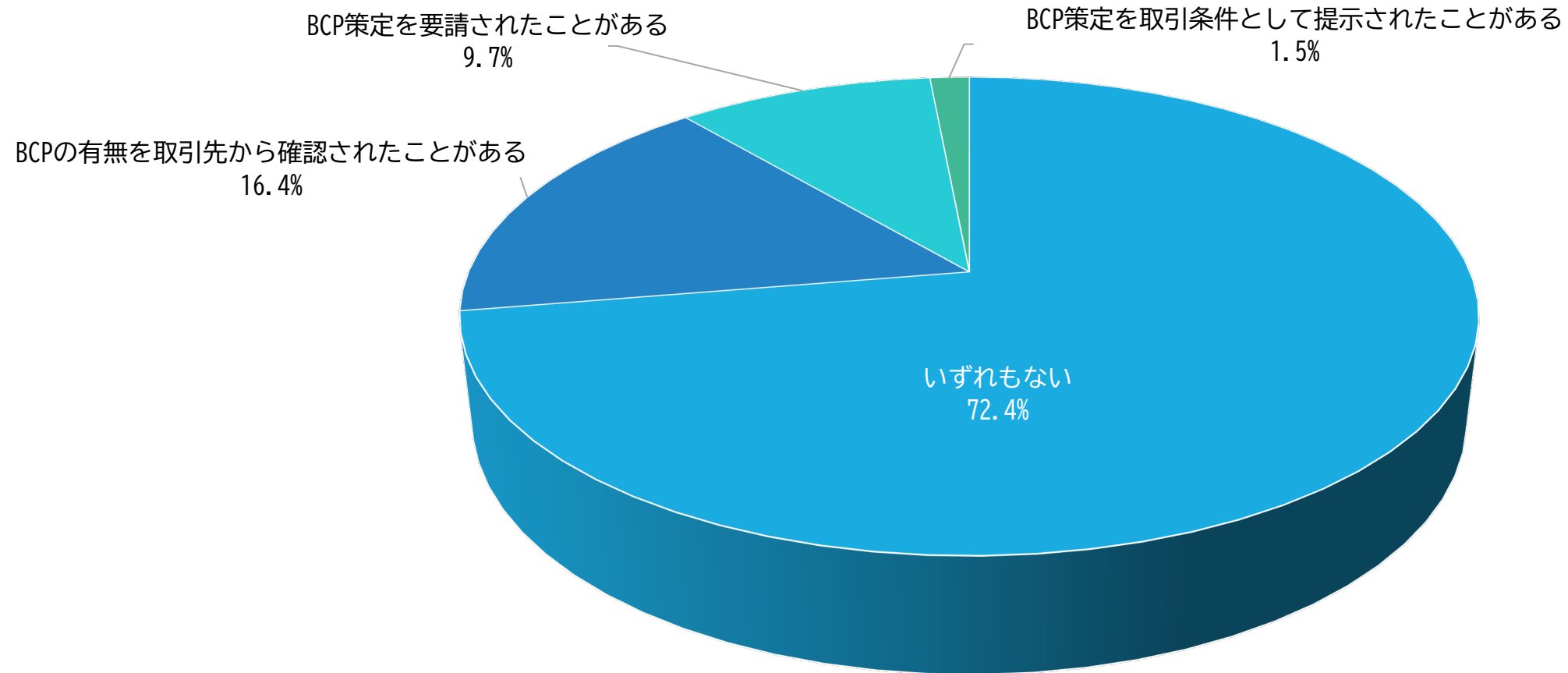


15-3 BCP計画を策定したことで災害以外に役立っているか（15-2で策定済みと答えた企業のみ）

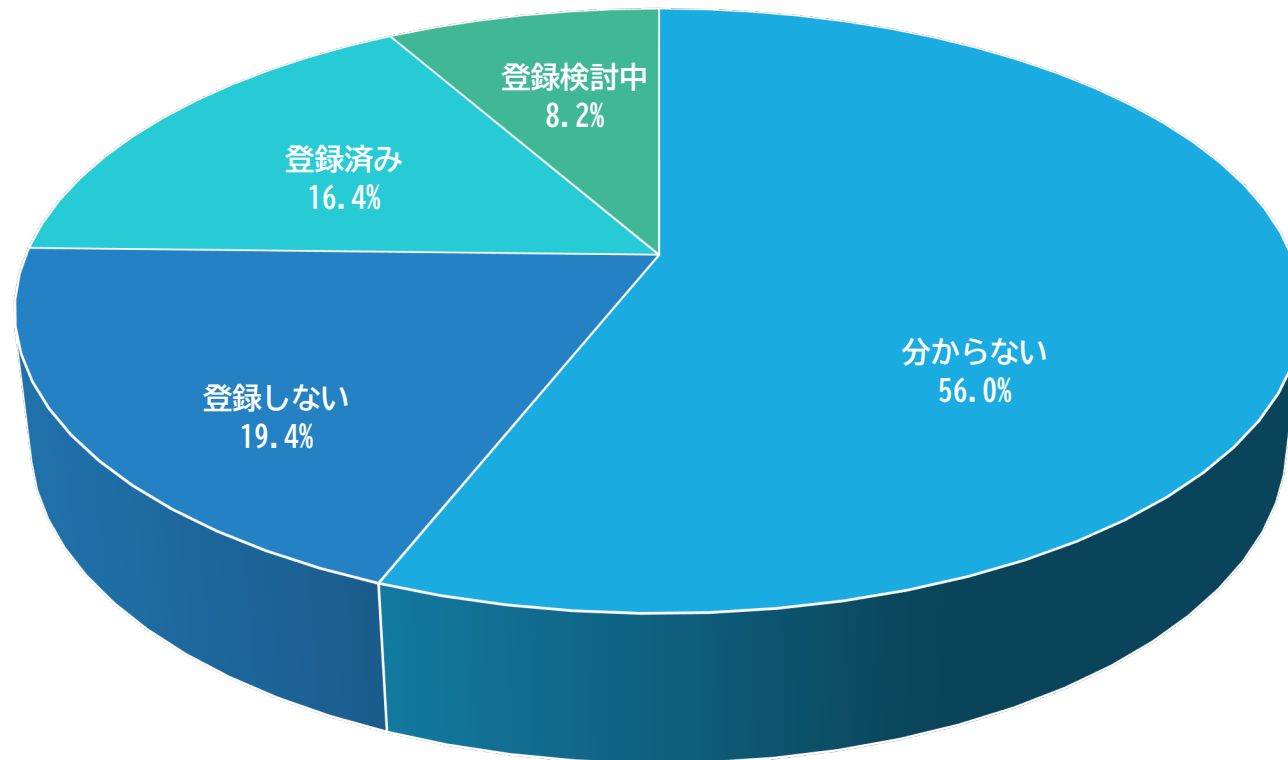
15-4 発注にあたり取引先にBCP策定を要請・確認したことがあるか



15-5 発注時に発注元からBCP策定を要請されたことがあるか

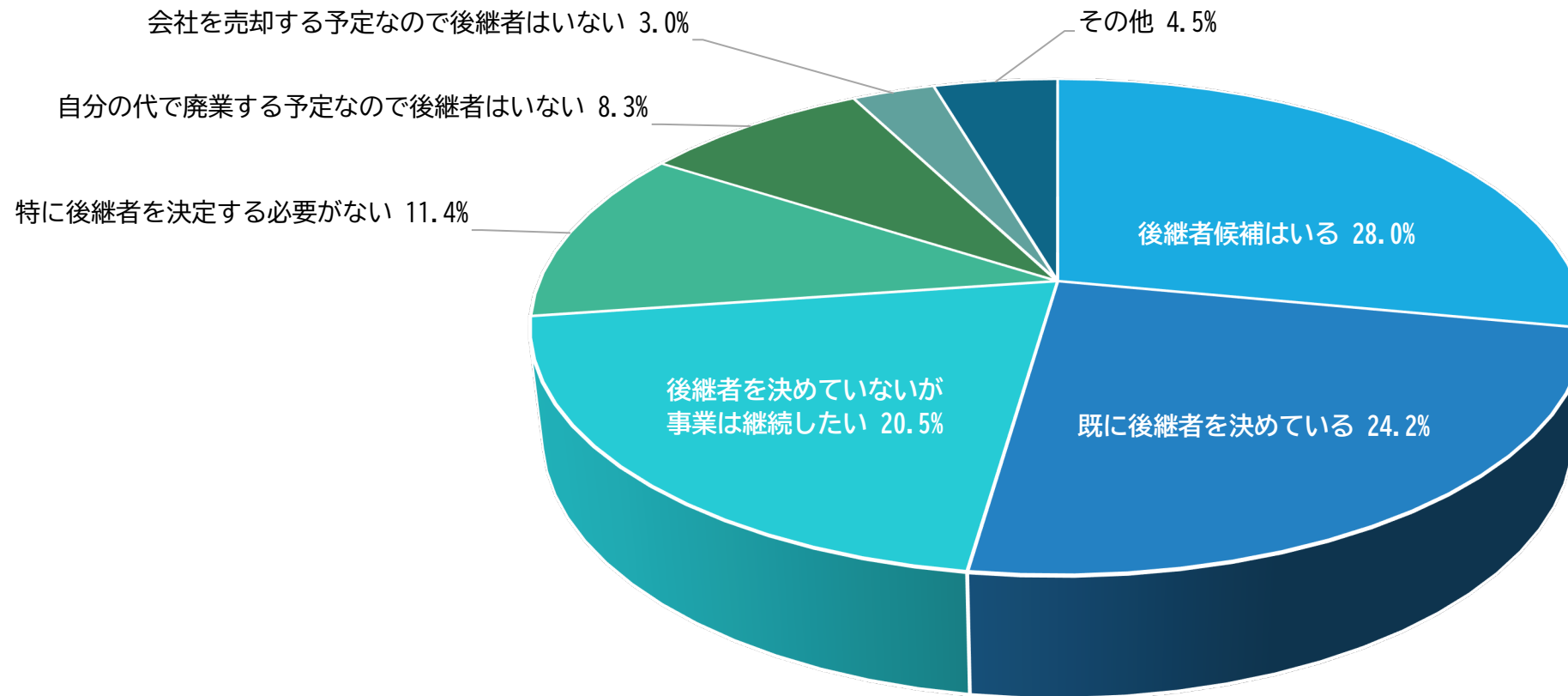


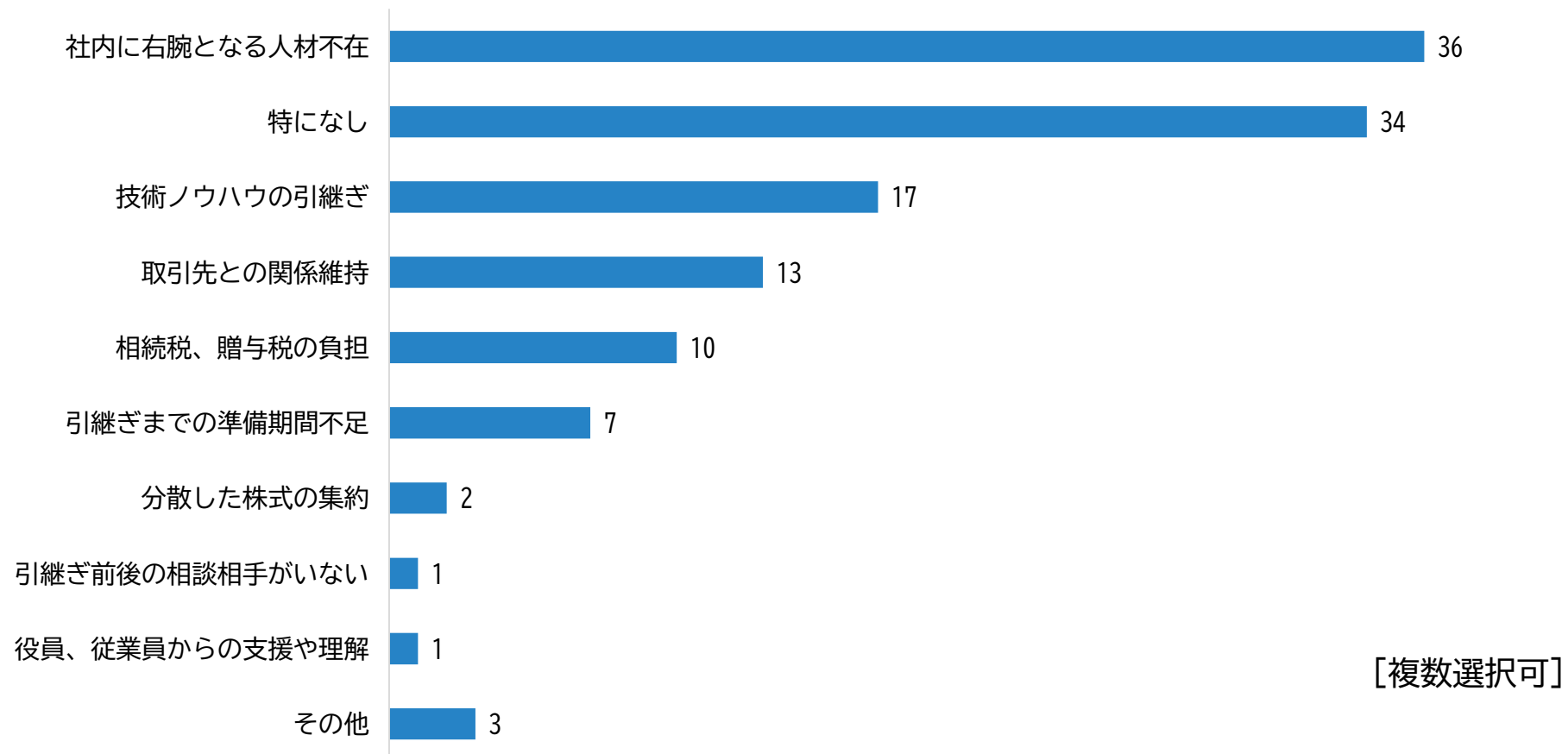
パートナーシップ構築宣言の登録



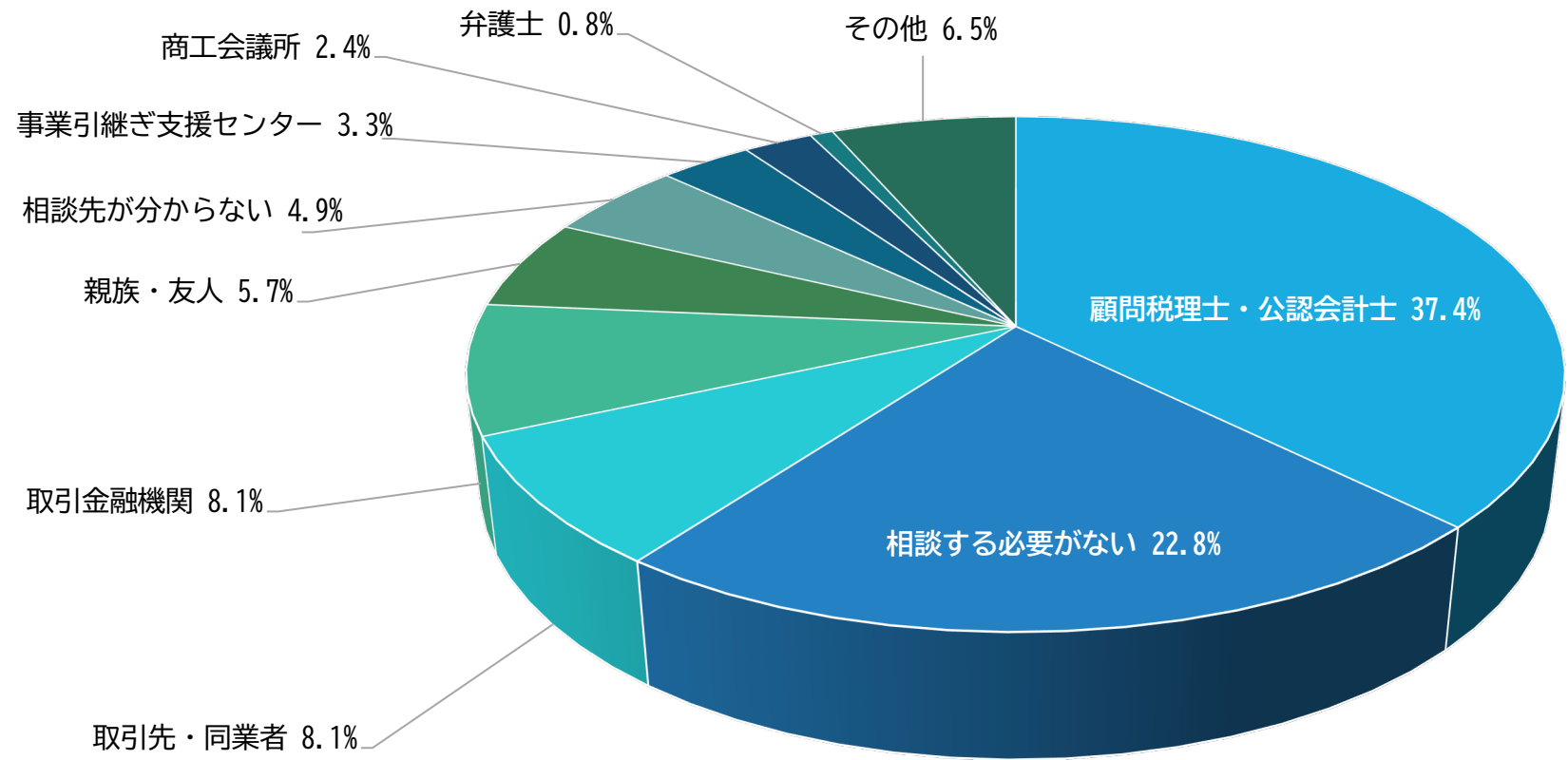
※パートナーシップ構築宣言とは

サプライチェーンの取引先や価値創造を図る事業者との連携・共存共栄を進めることで、新たなパートナーシップを構築することを、企業の代表者の名前で宣言する仕組み

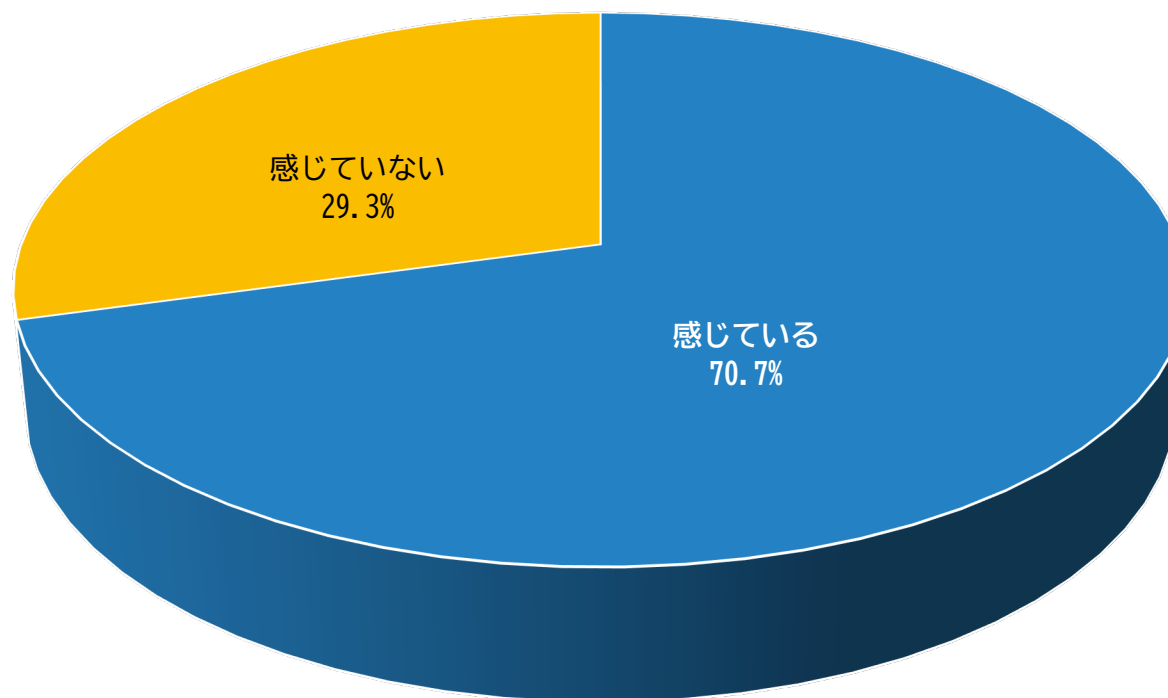
17-1 後継者の決定状況

17-2 事業承継を進めるうえでの課題

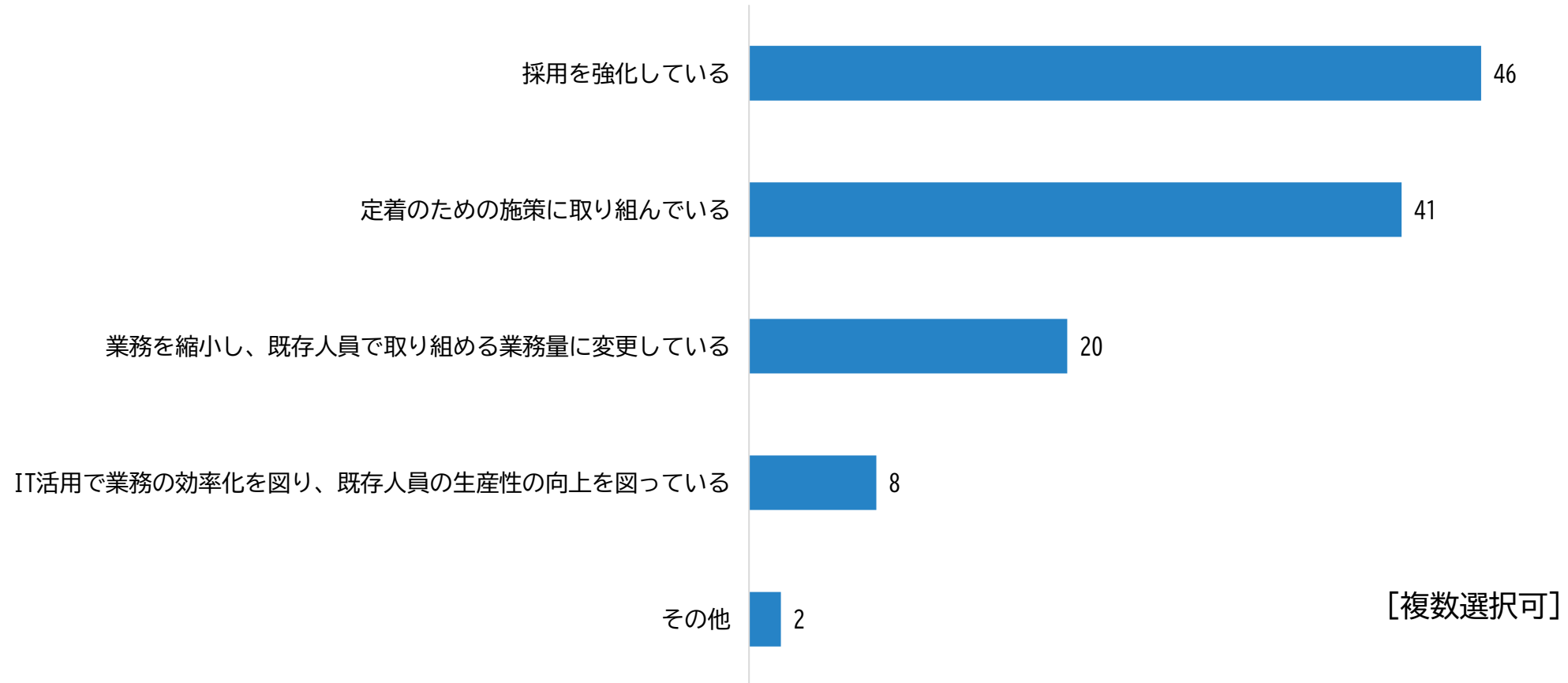
17-3 事業承継の相談先



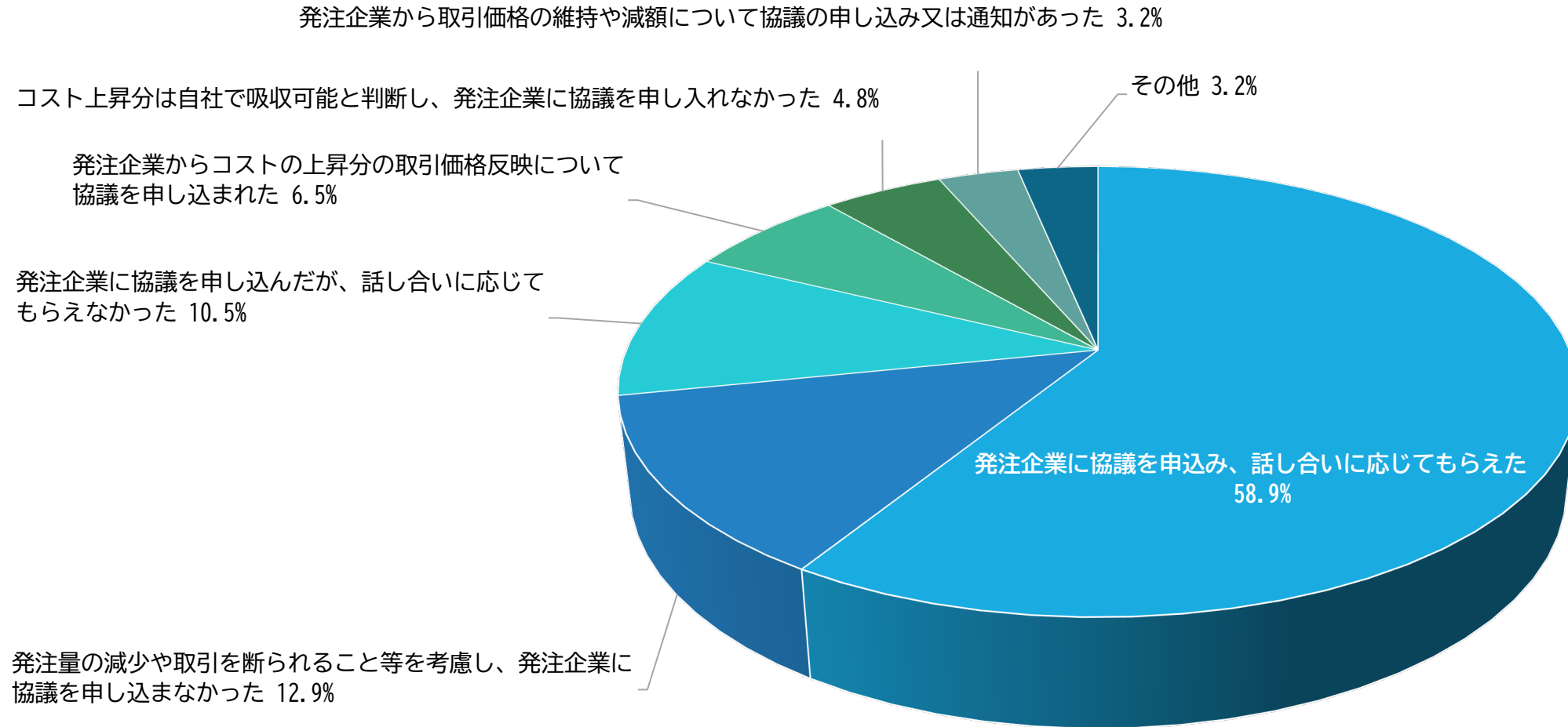
18-1 人手不足を感じているか

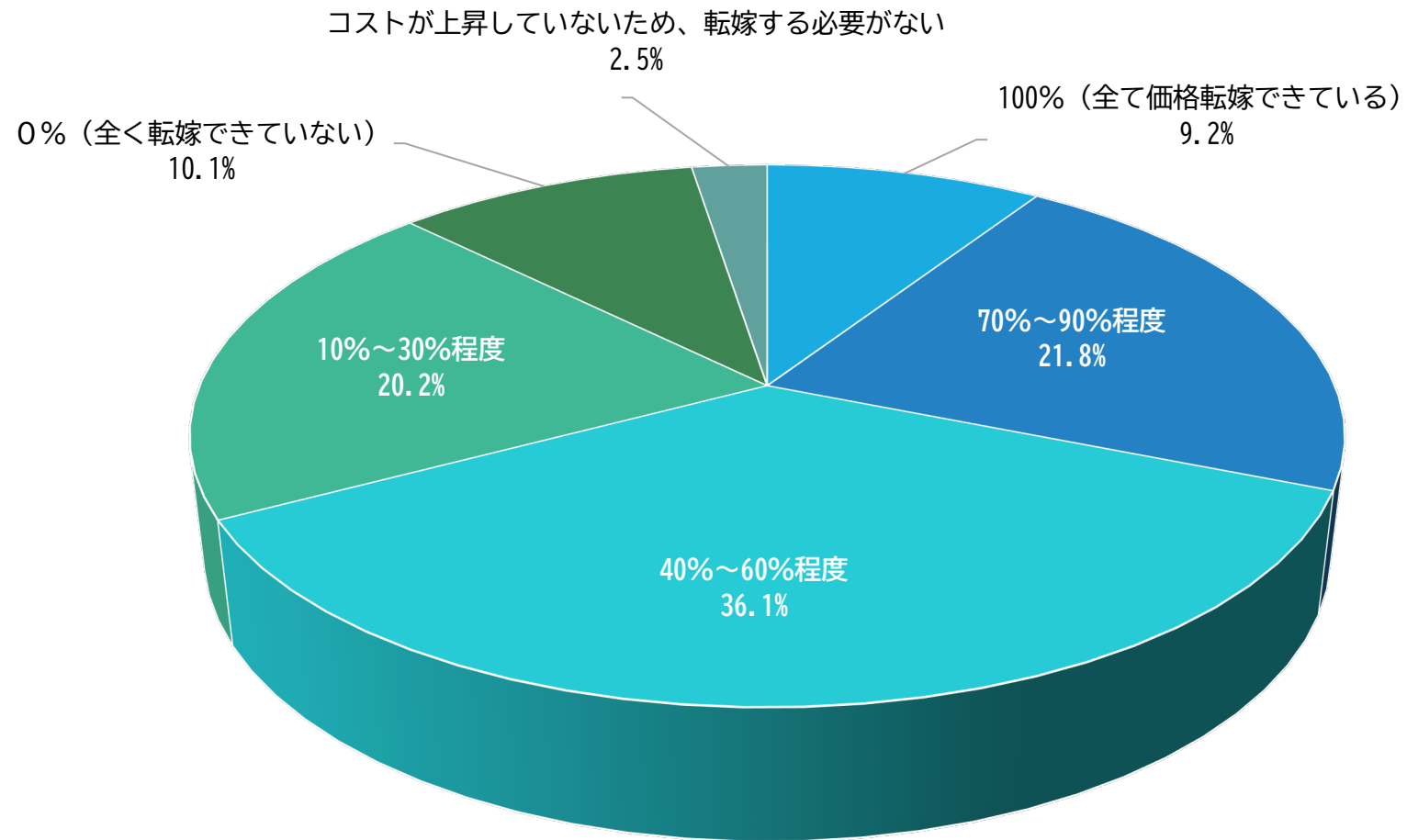


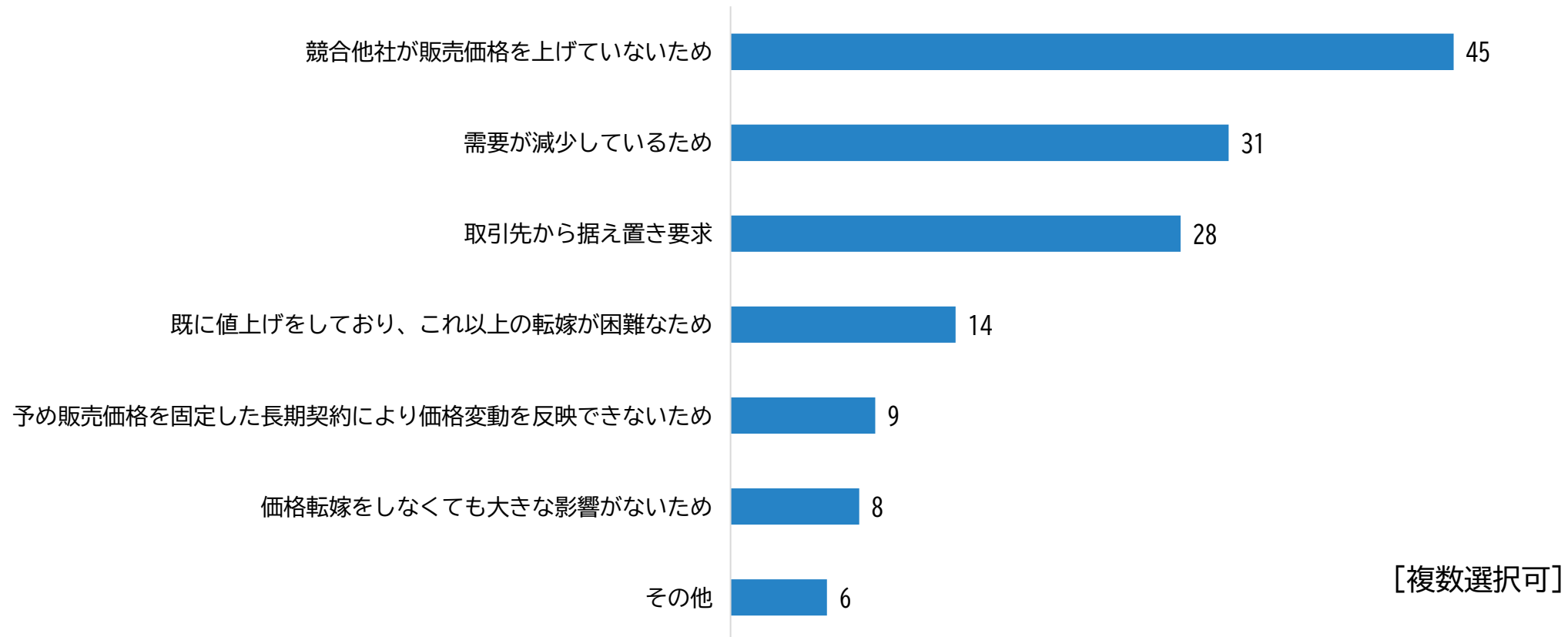
18-2 人手不足を感じている場合の対策

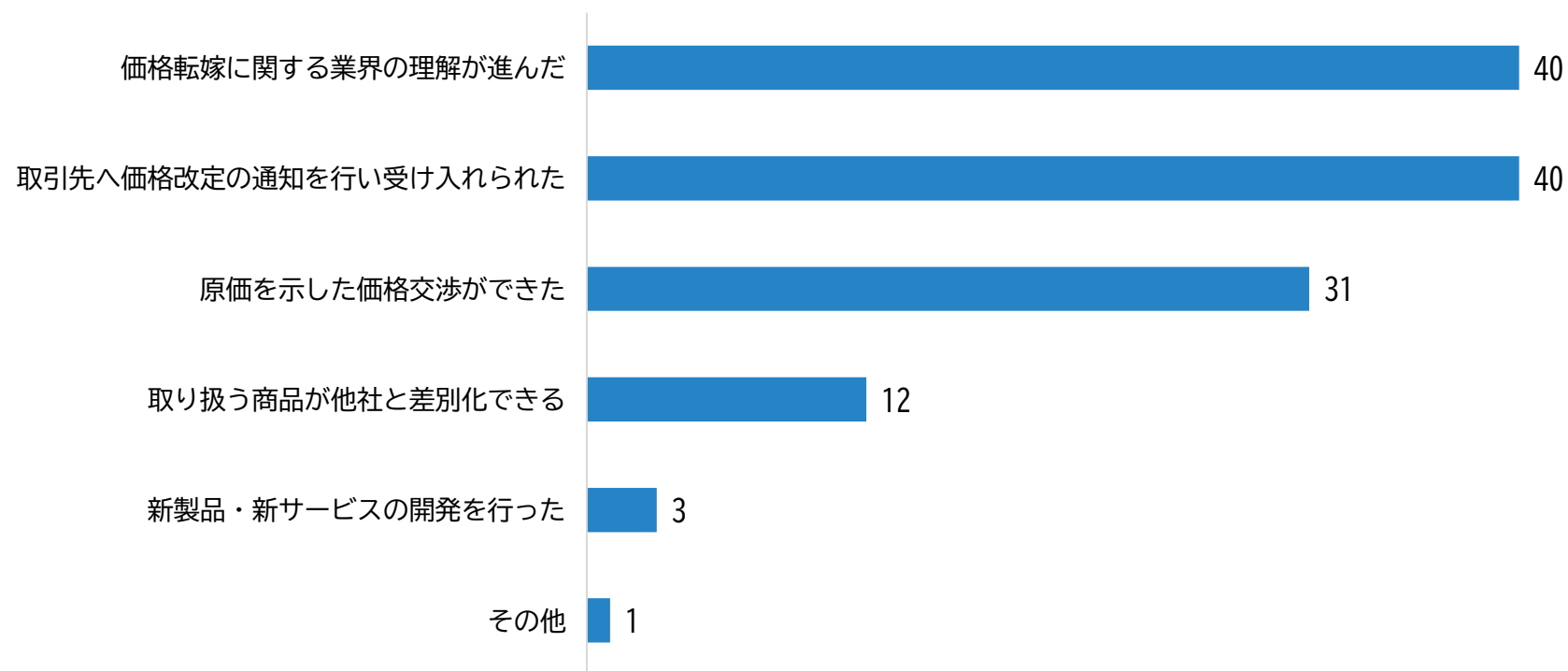


19-1 価格交渉の状況



19-2 コスト上昇分を販売価格に価格転嫁できているか

19-3 価格転嫁できていない理由

19-4 価格転嫁できた理由

19-5 コスト上昇に対する価格転嫁以外の対応策